

4-PORTAL

ALPINE MULTIMEDIA SYSTEM

ALPINE

使用時の注意

安全を理由にまたは物的損害の恐れについてシステムを使用する場合には、必ず次の注意事項に従う必要があります。（1）運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。



システムの操作に関する注意事項

- 交通事情が許す限り、スイッチを操作してスクリーンで情報を参照してください。
- 周囲の音が聞こえるように、ボリュームを適度なレベルに調整して下さい。

ナビゲーションに関する注意事項

- ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。
- 地域によっては、「地図」に新しい経路の情報がないことがあります。ご注意下さい。いかなる場合であっても、道路コードと道路標識を、ナビゲーションシステムの指示よりも優先してください。

運転支援機能に関する注意事項

この機能は、補助的な運転支援機能です。これらの機能は、車両を常時コントロールする責任があるドライバーに代わって注意するものではなく、補助的に注意喚起するものです。ドライバーは、システムの指示に関係なく、常に交通状況に応じて車速を調整する必要があります。

装置に関する注意事項

- やけど、物的リスクを避けるために、このシステムを分解したり改造することは絶対にお止め下さい。
- 誤作動のため、また解体する場合には、メーカーの担当者までお問い合わせ下さい。
- 異物、損傷または汚れた外部ストレージデバイス（USB キー、SD カードなど）をリーダーに挿入しないでください。
- 使用しているシステムと互換性のある外部記憶装置（USB フラッシュドライブ、Jack ソケットなど）のみを使用してください。
- マイクロファイバーの布で常に画面を清潔に保ってください。
- アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。



システムを使用する前に、一般販売条件に事前に同意することが必須となります。
詳しくは、正規サービス工場にお問い合わせください。



個人データの保護

お客様の車からのデータは、メーカー、Google、Google Play、Google マップ、Waze、および Google LLC に属するその他のブランド、正規販売店、およびメーカーグループ内のその他のエンティティによって処理されます。メーカーのお問い合わせ先の詳細は、同社ウェブサイトです。入手できます。

お客様の個人情報は、以下の目的で処理されます。

- お客様の車の機内サービスやアプリケーションの恩恵を受けることができます。
- お客様の車の操作とメンテナンスを可能にする。
- ドライバーの経験を向上させ、メーカーのグループの製品とサービスを開発する。
- メーカーグループの法的義務を強制する。

お客様（特に欧州諸国にお住まいの方）は、適用される規制に従い次のことを依頼できます。

- メーカーが保有するお客様に関するデータを取得し、確認する。
- 不正確な情報を訂正する。
- お使いのデータを削除する。
- データのコピーを取って他の場所で再利用する。
- いつでもデータの使用に反対する。
- データの使用を凍結する。

車両のマルチメディア画面から、次の操作を実行できます。

- お客様の個人データの共有（場所を含む）に対する同意を拒否する。
- いつでも同意を取り消す。

個人データの共有を停止する場合、メーカーから提供された車両の機能および / またはサービスの一部は、お客様の同意が必要なため停止されます。



個人データの保護

共有を中断するかどうかに関係なく、車両利用状況データは、次の目的でメーカーおよび関係するパートナー / 子会社に転送されます。

- お客様の車の操作とメンテナンスを可能にする。
- お客様の車のライフサイクルを向上させる。

このデータを使用する目的は、商業的な販促行為ではなく、メーカーの車両の継続的な改善と日常業務を妨げる可能性のある問題の防止です。

詳細については、メーカーのウェブサイトからデータ保護ポリシーをご覧ください。



この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた技術仕様に基づいて作成されました。

この取扱説明書には、記載モデルに既存のあらゆる機能（標準機能またはオプション機能）に関する情報が含まれています。注意事項のあるなしは、装備のモデル、選択したオプション、製品化する国によって異なります。

この取扱い説明書に記載されている機能は、更新、規制または技術的な制約により、将来的には変更される場合があります。またモデルイヤーの途中から登場した機能についても本書で取り上げます。このマニュアル上の画面は、契約ではありません。

→ 取扱説明書内には、随所に、参照ページの記載があります。

要約

「概要」の項を参照してください	5	トリップコンピューター	80
概要説明	5	パーキングアシスト	84
コマンドの説明	8	リアビューカメラ	87
サービスの起動	12	DRIVE MODE	88
作動原理	16	ムードランプ	91
クリーニング	19	Alpine Telemetrics	92
進む／止まる	20	タイヤ規定空気圧	95
追加、ウィジェットの管理	21	ITクオリティ	96
音声認識の使用	23	電気自動車	97
ナビゲーション	29	緊急サービスコール	102
カードキー	29	設定	103
行き先を入力	34	ユーザー設定	103
ナビゲーションの設定	42	システム設定	107
オーディオ／マルチメディア	47	更新	110
音源	47	通知	113
ラジオを聞く	49	作動異常	115
音楽	53	システム	115
音を調整する	56	ナビゲーション	117
電話	58	電話	118
電話のペアリングや接続	58	音声認識	119
通話管理	62	更新	120
SMS	67		
電話の設定	68		
ワイヤレスチャージャー	69		
アプリケーション	71		
Android Auto™, Apple CarPlay™	71		
アプリケーション管理	75		
My Alpine	77		
車両の貸し出しや手放し	79		
車両	80		

概要説明

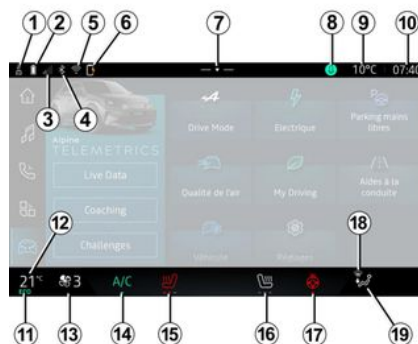
画面



ヒーターレベルの詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。



- A. アクセスとステータスバー。
- B. さまざまな領域へのアクセス。
- C. 選択した「領域」の表示エリア。
- D. 暖房レベルバーインジケータ。



- 1. データの接続と共有の状態。
- 2. 電話の充電量。
- 3. 電話の受信状態。
- 4. アクティブ化されたマルチメディアシステムの Bluetooth®。
- 5. マルチメディアシステム WIFI の状態。
- 6. ワイヤレス充電器の状態。
- 7. 通知センターへのアクセス。
- 8. マイクのステータスや制御。
- 9. 外気温度。
- 10. 時計。
- 11. インジケータECO上のエアコン。
- 12. 設定温度インジケータ。
- 13. 風量インジケータ。

14. エアコン作動スイッチ

15. 運転席ヒーター制御。

16. シートヒーターコントロール。

17. ステアリングホイールのヒーター制御。

18. フロントウィンドウの曇り止め／デフロスター警告灯。

19. 助手席吹出しロインジケータ。

領域のスクリーン

お使いのシステムは、次のようなくつかの領域 B で構成されています。

– « ナビゲーション »

– « オーディオ »

– 「電話」 または「スマホ連携」 .

– « アプリ »

– « 車両 » .

注: 各領域の有無は、車両装備に応じて変動します。

各領域には、有効な画面上に常時表示される領域バー B からいつでもアクセスできます。

概要説明

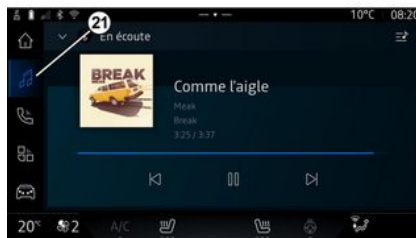
1

「ナビゲーション」領域



「ナビゲーション」領域  には、ボタン **20** を使うことでアクセスできます。この領域からは、ナビゲーションにアクセスできます。2つのカスタマイズ可能なウィジェットを表示することが可能です。

「オーディオ」領域



「オーディオ」領域  には、ボタン **21** を使うことでアクセスできます。この領域からは、ラジオや音楽にアクセスできます。

「電話」領域



「電話」領域  には、ボタン **22** を使うことでアクセスできます。この領域からは、マルチメディアシステムに接続されている電話を介した通話機能、電話帳および他の機能にアクセスできます。

注: スマホ連携中は、「電話」領域

 アイコンが変更される場合があります
ります  .

概要説明

「アプリ」領域



「アプリ」領域  には、ボタン**23**を使うことでアクセスできます。この領域からは、マルチメディアシステムを介して使用できるアプリケーションアクセスできます。

「車両」領域



「車両」  領域には、ボタン**24**を使うことでアクセスできます。この領域からは、運転支援機能、Alpine Telemetricsに代表される車両装備を管理したり、マルチメディアシステムの、表示や言語といった各種設定を調整できます。

注：

- エクイップメントレベルによっては、選択可能な機能のみがホーム画面に表示されます。
- また、車両の「Drive Mode」コントロールを繰り返し押すことで、さまざまなモードにアクセスすることもできます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

通知センター



通知センター**E**にアクセスするには、ボタン**7**を使用するか、マルチメディア画面をゾーン**A**から画面の中央に向かってすばやくスワイプします。いつでも、通知、「Profile」および一部の機能にアクセスできます。通知センターを終了するには、**7**を押すか、画面の下から画面の中央に向かってすばやく上にスワイプします。

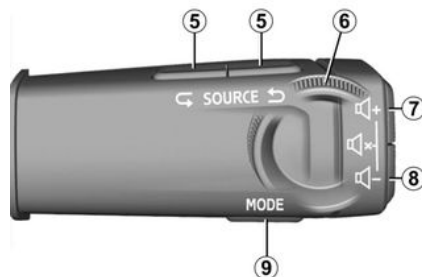
コマンドの説明

1

スクリーン制御



ステアリングホイール下のスイッチ



ステアリングホイールのコントロール



コマンドの説明

機能

1

	機能
1	マルチメディア画面。
2	音量を上げる。
3	短押し:「ラジオ - 音楽 OFF」／「ラジオ - 音楽 ON」、「スタンバイモードのディスプレイ」、「スクリーンクリーニング」、「スタンバイ」。 長押し (約 5 秒) : マルチメディアシステムを強制終了できます。
4	音量を下げる。
5	音源を選択します。
6	ラジオ局またはオーディオトラックとディレクトリを参照します (機器に応じて)。
7	短押し: - 現在聴いている音源の音量を上げる。 スイッチを押したままにします (約 5 秒) : - オーディオの強制ミュートを解除します。
8	短押し: - 現在聴いている音源の音量を下げる。 スイッチを押したままにします (約 5 秒) : - オーディオの強制ミュートをサウオさせます。
7 + 8	短押し: - ラジオ音声のオン / オフ。 - オーディオトラックの一時停止または再生。 - 音声認識の音声シンセサイザーを中断します。 スイッチを押したままにします (約 5 秒) :

コマンドの説明

1

	機能
	– オーディオの強制ミュートを有効化／無効化します。
9	ラジオ放送の聴取モードを変更（「リスト」、「お気に入り」）できます。
10	電話がマルチメディアシステムに接続されていない場合は次のように操作します。 – 電話ペアリング機能にアクセスします。 電話がマルチメディアシステムに接続されている場合は次のように操作します。 – 電話領域  にアクセスし、 – 電話に応答／電話を終了します。
11	短押し： – マルチメディアシステムの「Google アシスタント」音声認識を有効化 / 無効化します。 長押し： – 携帯電話の音声認識を有効化 / 無効化します（電話がマルチメディアシステムに接続されている場合にのみ利用可能）。
12	短押し： – スクロールやモードの選択 DRIVE MODE。 長押し： – 使用している DRIVE MODE モードの設定にアクセスします。 詳細については、「Drive Mode, ➔ 88」の項を参照してください。
13	短押し： – 「お気に入り」機能を使用できます。 長押し： – 「お気に入り」機能選択構成にアクセスできます。 詳しくは、「ユーザ設定」➔ 103セクションをご覧ください。

コマンドの説明

	機能
14	インストルメントパネルにおける表示（インストルメントパネル上にナビゲーション情報を表示など）を選択肢の中から選択します。

サービスの起動

1

はじめに

サービスが有効になると、車両の納車日から始まる限られた期間に無料で使用できます。

マルチメディアシステムでは、いくつかの手順でプロフィールを設定できます。

注：

- 構成ウィザードは、プロフィール（ゲストプロフィールは除きます）作成のたび作成を支援します。
- 設定のウィザードは、車両が固定されている間のみ使用できます。

構成アシスタント



メーカーは、適用される規則を踏まえ、リスクに適した水準の安全性を確保するのに必要なあらゆる予防措置を講じなければなりません。



使用を希望する言語を **1** に掲載の一覧の中から選択し、**2** を押して確定します。



マルチメディアシステムは、必要な情報を提供し、個人データ制御を可能にします。

各種データ共有オプションの詳細をご覧になるには、「情報」アイコン



を押してください。

表示情報を再確認したら、「確認」を押して選択内容を確認し、続行します。

次に、個人データ使用への適用を希望する条件を次の中から選びます。

- ご自身の個人データの共有を認め、利用できるどの接続サービスの利用も求める場合には「すべて受け入れる」を選択します。
- ご自身の個人データの共有を拒み、拒否し、（規制に基づき必ず有効化されていないとなければならない、事故発生時に自動で緊急連絡する安全機能は除く）どの接続サービスの利用または作動も認めない場合は「すべて拒否」を選択します。
- 次の項目に関するデータの特定制能を有効化／無効化する方法でご自身の個人データ使用への適用を希望する条件をパーソナライズするには「カスタマイズ」を選択します。

- « My Alpine » ;
- « オンボード接続サービス » ;
- 「製品およびサービスの改善および開発」
- ...

サービスの起動

マルチメディアシステムは、マルチメディアシステムとデータを交換する Google ソフトウェアとサービスを使用します。Google サービスの法的条件が通知されます。

次を承認または拒否できます。

- アプリケーションによるお客様の場所の使用
- 使用状況 / 診断データの送信

注：

- アプリケーションによる車両の現在位置情報の使用を認めないとナビゲーション Google Maps にはアクセスできません。
- アプリに関する許可やプライバシーの詳細については、「アプリ管理」➔ 75 および「システム設定」➔ 107 の項をご覧ください。

顔認識

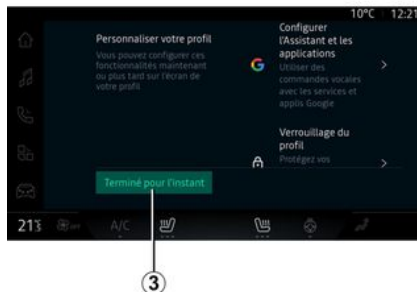
(装備により異なります)

マルチメディアシステムは、顔認識カメラを使用して顔の画像を保存し、「プロフィール」に紐付けることを提案します。顔の画像を保存すると、運転席に座しているときにマルチメディアシステムによって認識され、「プロフィール」を直接使用するように提案されます。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

プロフィールをカスタマイズする



次の機能を設定して、プロフィールをカスタマイズできます。

- 「My Alpine アカウント」
- 「Google アシスタント」とアプリを設定する。
- プロファイルをロックする。

注: 構成は、3 を押すと中断でき、その後の再開は通知センターかプロフィールから行えます。プロフィールの構成の詳細については、「ユーザー設定」➔ 103を参照してください。

「My Alpine アカウント」

マルチメディアシステムを使用すると、「My Alpine」アカウントに接続して、車両の特定の機能を管理し、スマートフォンを介してこの情報にアクセスできます。

「My Alpine」の詳細については、「My Alpine」➔ 77 の項を参照してください。

「Google アシスタント」やアプリケーションを構成します

マルチメディアシステムでは、次のようなさまざまな方法でアカウント Google に接続できます。

- Google アカウント ID (メールまたは電話番号、パスワード) を使用して。
 - お使いの携帯電話のモデルによっては使用可能な、マルチメディアシステムの画面上でスキャンできる QR Code を用いる方法。
- マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。

プロフィールをロックする

機密情報を保護しプライバシーを確保できるよう、Renaultでは、ご自身の個人データについてはご自身で保護することを強くお勧めしています。この保護のためにマルチメディアシステムを使うと、次の方法でプロフィールへのアクセスをロックできます。

サービスの起動

1

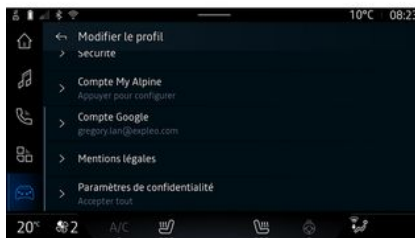
- « パターン »;
- « PINコード »;
- « パスワード »;
- 「電話を用いたプロフィールロックの解除」。
- 「プロファイルロックを使用しないでください」。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従って、設定を完了します。



個人データの秘密性や完全性の確保を含むプライバシー確保のため、プロファイルはロックすることを強くお勧めします。

データの収集



サービス有効化要求の検証後も、データ収集の有効化／無効化やデータ共有水準の変更を行えます。適用される個人データ使用条件を選択するには、通知センターを開き、「Profile」>「プロファイルを編集」>「プライバシー設定」の順に選択します。

次に、データ共有水準を次の中から選択します。

- 「すべて受け入れる」：データの共有を認める場合
- 「すべて拒否」：データ共有を認めない場合
- 「カスタマイズ」：一覧から選んだデータの共有のみ認める場合。

注: データの共有を希望しない場合は、同意を必要とするサービスが機能

しなくなる可能性があります（事故時の自動緊急通報に関連する標準サービス/機能は除く）

データ収集の一時停止

車両データの収集は一時的に停止されることがあります。

これを行うには、通知センターにて選択できる「Profile」から「データのみを共有する」を押す方法で、データ収集を一時停止するか、収集レベルを変更します。特定のデータ収集を一時停止するには、「すべて拒否」を選択し、特定データ収集を一時停止するには、「カスタマイズ」の後、収集を一時停止するデータを選択します。

データ共有を拒否すると、同意を必要とするサービスが機能しなくなる可能性があります（事故時の自動緊急通報に関連する標準機能は除く）



製造元は、お客様の個人データが完全なセキュリティで確実に処理されるよう、必要な予防策を講じます。

データプロテクション

お客様の個人情報は、以下の目的で処理されます。

- お客様による車両の遠隔制御を可能にすること、車両を自動更新するこ

サービスの起動

と、または車両内でしたり、車両内でエンターテインメントサービスを提供すること。

- 車両の保守整備を可能にすること。
- 運転体験を向上させること、さまざまなモビリティ方法を提供すること、製品やサービスを開発すること。
- Renault が果たすべき法的な義務や規制上の義務を果たすこと。

お客様は、個人データの保護に関する適用規制に従い次のことを要求できます。

- メーカーが保有するお客様に関するデータを取得し、確認する。
- 不正確な情報を訂正する。
- お使いのデータを削除する。
- データのコピーを取って他の場所で再利用する。
- いつでもデータの使用に反対する。
- データの使用を凍結する。

車両のマルチメディア画面から、次の操作を実行できます。

- お客様の個人データの共有（場所を含む）に対する同意を拒否する。
- いつでも同意を取り消す。

個人データの共有を停止する場合、メーカーから提供された車両の機能および / またはサービスの一部は、お客様の同意が必要なため停止されます。

共有を中断するかどうかに関係なく、車両利用状況データは、次の目的でメーカーおよび関係するパートナー / 子会社に転送されます。

- お客様の車の操作とメンテナンスを可能にする。

- お客様の車のライフサイクルを向上させる。

このデータは、商用サービスではなく、メーカーの車両を継続的に改善し、日常の使用を妨げる可能性のある問題を防止するために使用されます。

サービスの有効期限

サービスは限定された期間だけ有効になります。この期間が終了すると、サービスは機能しなくなります。サービスを再有効化するには、「サービス更新」➔78に関する説明をご覧ください。



メーカーは、適用される規則を踏まえ、リスクに適した水準の安全性を確保するのに必要なあらゆる予防措置を講じなければなりません。

作動原理

1

マルチメディア画面



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



一部の設定は、マルチメディアシステムによって保存されるために、エンジンの稼働中に変更する必要があります。

メニューにナビゲート



マルチメディア画面を使用してシステム機能を利用できます。マルチメディア画面をタッチして、メニューの1つを選択します。

ジェスチャーインタラクション



－ スワイプ: 素早く指をスライドさせます:

－ 水平方向に、左から右または右から左へ。

または

－ 垂直方向に、下から上へ、または上から下へ。

－ 短押し: 指で画面の一部にタッチして、すぐに画面から指を離します。
－ 長押し: 画面の一部をタッチして、少なくとも1.5秒間待ちます。
－ 拡大と縮小: 2本の指を画面上に置いて、指を互いに近づけたり離したりします。

作動原理

「領域」バーの概要



お使いのマルチメディアシステムには、領域バー **A** が含まれています。システムは次の5つの領域で構成されており、どの領域にも、マルチメディア表示画面から常時アクセスできます。

– 「ナビゲーション」：衛星案内機能、道路地図および交通情報に関するあらゆる情報が含まれています。

– 「オーディオ」：ラジオや音楽ファイル再生機能へのアクセスに使用します。

– 「電話」／「レプリケーション」：

– 1台以上の電話をシステムにペアリングしたり、マルチメディアシステムに接続された電話で使用可能な、通話や電話帳などの機能にアクセスしたりするのに使用できます。

– スマートフォンの複製を有効にするのに使用できます。

– 「アプリ」：アプリへのアクセスに使用できます。

– 「車両」：走行モード、運転支援機能、Alpine Telematicsといったいくつかの車両装備を管理したり、表示や言語といったマルチメディアシステムに関する各種設定を調整したりできます。

「領域」ページの説明



ある領域から別の領域に移動するには、いずれかの領域ボタン **1** を直接押します。

「ナビゲーション」領域には、タイヤ圧力調整やラジオなどの機能にアクセスできるウィジェットが含まれています。

これらのウィジェットでは、その機能のメイン画面に直接アクセスしたり、場合によってはメイン画面の1つから機能を直接制御したりできます（ラジオ局の変更など）。

注：「ナビゲーション」ページの構成を変更できます。詳細については、「ウィジェットの追加と管理」の項を参照してください➔21。

通知センター



ボタン **2** を使用するか、領域 **B** から画面の中央に向かってマルチメディア画面をすばやくスワイプしてアクセスできます。通知センターでは、通知履歴にアクセスできます。

– SMS；
– «タイヤ圧」；
– 更新データがあります。

作動原理

1

- ...



アクセスする通知を選択します。

通知を削除するには、画面を素早く水平方向にスワイプします。

すべての通知を削除するには、ボタン**3**を押します。

ユーザープロフィールを作成および構成することもできます。詳細については、「ユーザー設定」→**103**の項を参照してください。

通知の詳細については、「通知」の項→**113**を参照してください。

使用可能な機能

国によっては、その法令に基づき、運転中は「」、チュートリアル、特定の設定に代表される機能にアクセスできないことがあります。

使用できない機能にアクセスするには、車両を停止します。

注: 国によっては、アプリケーションにアクセスするためにパーキングブレーキをかける必要がある場合があります。詳しくは、正規サービス工場にお問い合わせください。

クリーニング

クリーニングの推奨事項



クリーニング製品を画面に注入または噴射しないでください。

ケミカルクリーニング剤または家庭用製品は使用しないでください。デバイスは液体に接触しないようにし、湿気にさらさないように注意してください。その場合、表面または電装品が劣化または損傷する可能性があります。



アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。

清潔で、毛羽立ちのない、柔らかい乾燥したマイクロファイバクロスのみを使用して、タッチスクリーンを清掃して、アンチグレア材料を損傷しないようにします。

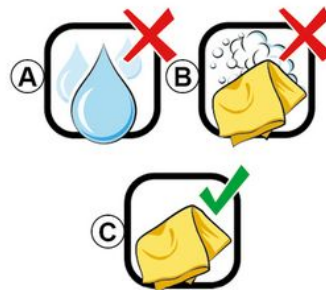
マルチメディア画面に圧力がかかり過ぎないように注意し、画面に傷が付く恐れのあるクリーニング用具（ブラシ、粗目の布巾など）は使用しないでください。

「スクリーンクリーニング」モード



マルチメディアシステム画面を ON にしたまま画面上をマイクロファイバークロスで拭く場合は、マルチメディアパネル上の制御ボタン **1** を短押しし、「スクリーンクリーニング」**2** を押してタッチスクリーンを非アクティブモードにします。

モード「スクリーンクリーニング」モードを終了するには、マルチメディア画面を 2 回押します。



以下の推奨クリーニングに従ってください。

A. : アルコールベースの流体は使用せず、流体の塗布または散布もお止めください。

B. : 石鹼水で少し湿らせたマイクロファイバークロスを使用してクリーニングするのはお止めください。

C. : 乾いたマイクロファイバークロスで拭いてください。

進む／止まる

1

作動



マルチメディアシステムの始動:

- ドアの締め切り。
- マルチメディアパネルのコントロール **1** を軽く押した場合。

停止



マルチメディアシステムのスイッチは、次の方法で OFF にできます。

- マルチメディアパネルの制御ボタン **1** 短押ししてから「スタンバイ」を押す方法。
- 車両のドアのロック時。

最小表示

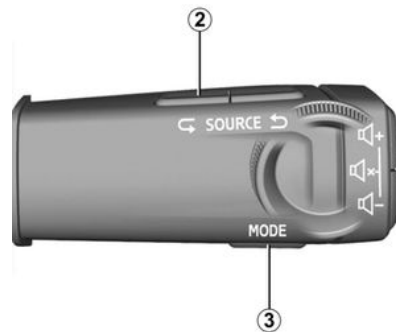
この機能では、画面に外気温、時計、ヒーターレベルバーのみを表示できます。

この表示モードを選択するには、マルチメディアパネル上の制御ボタン **1** を短押ししてから、「スタンバイモードのディスプレイ」機能を選択します。

制御ボタン **1** を短押しすると、次のような他の機能が表示されます。

- « ラジオ - 音楽 OFF »/« ラジオ - 音楽 ON »;
- « スクリーンクリーニング ».

再起動



マルチメディアシステムは、押し続けて（システムが再起動するまで押したままにして）再起動することができます。

- マルチメディアパネルのコントロール **1**

または

- 「Mode」ボタン **3** と、ステアリングコラムの制御装置左側にある「Source」ボタン **2**。

追加、ウィジェットの管理

はじめに



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



ウィジェット設定はプロフィールにリンクされています。プロフィールが変更されると、ウィジェットの表示も変わります。



お使いのシステムにはカスタマイズ可能な「ナビゲーション」ページがあります

す。これは、ラジオ、タイヤ圧力調整機能といった情報や機能へのアクセスを可能にする、領域 **A** に属する複数のウィジェットで構成されています。

ウィジェットコントロールの1つを押して、直接メイン画面を介して機能を制御します（ラジオ局を変更する、電話にアクセスするなど）。

ウィジェットサイズ



ナビゲーションマップの表示を増やすには、ウィジェット領域を縮小します。

ボタン **1** を押すか、ウィジェット領域 **A** から画面の端までマルチメディア画面をスワイプします。



ウィジェット画面を拡大するには、ウィジェットを押すか、マルチメディア画面を、ウィジェットエリア **B** から画面の中央に向け素早くスワイプします。

追加、ウィジェットの管理

1 ウィジェットのカスタマイズ



「車両」領域  から「車両」メニュー>「コックピット」>「ウィジェットの編集」の順にアクセスすると、ウィジェットをカスタマイズできます。

ウィジェットは、「バグーション」領域  から、エリア **A** を画面中央方向にスワイプし、カスタマイズしたいウィジェットを長押しする方法でもカスタマイズできます。



その後は、画面をタッチして領域 **B** 内の希望場所を選択し、表示希望ウィジェットを一覧 **C** から選択します。

「車両」ウィジェットのカスタマイズ

(装備により異なります)

「車両」ウィジェットをカスタマイズするには、**2**を押します。次に、**D**で変更する機能の位置を選択し、**E**のリストから表示する機能を選択します。

「車両」ウィジェットのカスタマイズを確認し終了するには、**3**を押します。

音声認識の使用

はじめに

マルチメディアシステムには、音声認識システムが搭載されています。

- « Google アシスタント »;
- スマートフォンの複製による音声コマンド。

音声認識システムは、マルチメディアシステムやスマートフォンの一部の機能を音声コマンドで制御するために使用できます。ステアリングホイールを握ったまま、マルチメディアシステムまたはスマートフォンを使用することができます。

自然に人と話している場合のように、マルチメディアシステムに対処して音声コマンドを使用します。

注: 音声認識ボタンの位置は変動します。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

音声認識システムを使用できます。

- マルチメディア画面
- スマホ連携で使用可能なスマートフォン。

「スマートフォンの複製」の詳細については、「Android Auto™、Apple CarPlay™」➔ 71 の項を参照してください。

音声認識によるマルチメディアの使用

マルチメディアシステムの音声コマンドによって制御される主な機能

車両に装備されている次の項目の一部機能は音声コマンドで制御できます。

- ナビゲーション
- 音楽
- ラジオ
- 電話
- 車両機能 (エアコン、Drive Mode
- 接続サービス (天気、ニュースなど)
- ...

注: 音声認識を使用する場合は、ネットワークの通信エリアに位置している必要があります。受信不良の場合は、特定の機能にアクセスできません。

Google アカウントに接続すると、車両が接続されているときにアシスタントをさらにカスタマイズできます。たとえば、保存された連絡先に電話したり、カレンダー Google の内容について知るなどです。

注:

- 「Google アシスタント」は、まだすべての言語で利用できわけではありません。利用可能性の詳細または他の言語を試す (利用可能な状態) 場合には、support.google.com を参照してください。

- 音声コマンドは、ソフトウェア更新を介して強化および改善されています。

- 以下の手順は一般的な説明であり、サードパーティーのベンダを含みます。使用可能性、バージョン、および機能は異なる場合または変更される場合があります。

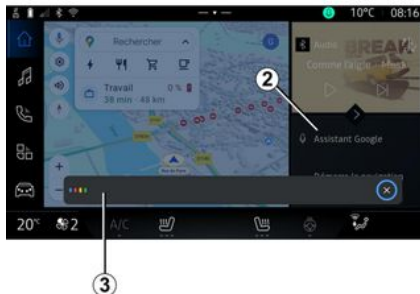
音声制御



音声制御を使用して、画面にタッチすることなく、電話帳の連絡先を呼び出し、目的地を入力し、ラジオ局などを変更することができます。ボタン **1** を短押しすると、確認音が聴こえ、画面に確認表示が出ます。

音声認識の使用

1 「Google アシスタント」有効化



音声認識システムを起動するには、いくつかの方法があります。

– 音声コマンド「Hey Google」を発声して、画面 **3** 上で可聴確認フィードバックと視覚的フィードバックを受け取った後、コマンドを言います（「家に帰る」など）。

または

– 車両の音声認識機能ボタン **1** を短押しする方法。

または

– ウィジェット「Google アシスタント」**2** を押す方法。

または



– 「ナビゲーション」 から **4** アイコンを押します。

「音声認識」メニュー

「車両」領域  から、「設定」、「Google」、「Google アシスタント」の順に選択すると、次のことが行えます。

- アシスタントの「言語」を選択する
- 「端末に向かって Hey Google と言う」方法での音声コマンド機能起動を有効化／無効化する
- カスタム結果を許可する、
- カスタム結果を事前に表示する、
- 「Google アシスタント」から通知を受け取る

音声認識機能を用いた「ナビゲーション」の制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、目的地を入力する方法がいくつかあります。

注: すべての機能からのメリットを有効にするには、Google アカウントを有効にして住所を保存する必要があります。詳細については、「ユーザー設定」→ **103** の項を参照してください。

音声コマンドによるナビゲーションの制御を開始するには、音声コマンドを有効化し、ビープ音が鳴ったら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

- 「ランドマーク」
- 「目的地」
- 「自宅」
- 「勤務先」
- 「経路情報」
- 「ガイド」
- ...

「ランドマーク」

音声コマンドを使用して POI（ランドマーク）を検索します。

例:

- 「パン屋に行く」
- 「Parisまで案内して」。
- 「エッフェル塔に連れて行って」
- ...
- 「目的地」

音声認識の使用

音声コマンドを使用して完全な住所を入力するには、次のようにします。

例:

- 「7 rue de la Joie, Paris に行く」
- 「Paris に連れて行って」
- 「Paris のモンマルトルに行く」
- ...

注: この例は、国と言語に応じて適用できます。

「自宅」と「勤務先」

音声コマンドを使用して、自宅または勤務先に行くには

例:

- 「自宅に帰る」
- 「自宅に車で帰る」
- 「勤務先に連れて行って」
- ...

注: 「自宅に帰る」または「仕事場の住所」音声機能を使用するには、Google アカウントを入力して、住所を保存する必要があります。

「経路情報」

音声コマンドを使用して進行中のルートを通知します。

例:

- 「経路を教えて」。
- 「到着予定時刻は」。
- 「残りの距離は」。
- ...

「ガイド」

音声コマンドを使用して、現在のルート案内に対してアクションを実行します。

例:

- 「音声案内を有効化／無効化する」
- 「有料道路を避ける」
- 「経路を取り消す」
- ...

音声コマンドによる「オーディオ」の制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、音楽またはラジオを作動させることができます。

「オーディオ」  に関連する音声コマンドを開始するには、音声コマンドを有効化し、ピープ音が鳴ったら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

- 「音源」
- «ラジオ」;
- 「音楽」
- 「再生コマンド」
- ...

「音源」

音源を変更できます。

例:

- 「ラジオを再生」
- 「ストリーミング音楽アプリを起動する」
- ...

«ラジオ」

ラジオ局を選択できます。

例:

- 「Jazz radio を再生」
- 「91.8 を再生」
- ...

「音楽」

音楽（オーディオトラック、プレイリストなど）を起動できるのは、音楽をストリーミングする場合のみです。

例:

- 「<好みのアプリケーション名>で<アーティスト名>を聴く」
- 「<好みのアプリケーション名>で<曲のタイトル>を聴く」
- 「<好みのアプリケーション名>で<アルバム名>を聴く」
- 「<好みのアプリケーション名>で<プレイリスト名>を再生する」
- ...

注: 一部のストリーミング音楽アプリケーションでは、関連するアカウントを接続する必要があります。

「再生コマンド」

現在のプレイリストをコマンドで指定できます。

例:

- 「再生」
- 「一時停止」
- 「次へ」
- 「前へ」

音声認識の使用

1

注: 使用するアプリケーションによって、コマンドが異なる場合、または使用できない場合があります。

音声コマンドによる「電話」の制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、電話番号または連絡先を呼び出すことができます。

「電話」  に関連する音声コマンドを開始するには、音声コマンドを有効化し、ピープ音が鳴ったら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

- 「通話」
- 「ダイヤル」
- 「発信ログ」
- « SMS » ;
- ...

注:

- 電話でデータ共有を有効にする必要があります。詳細については、「サービスの起動」→12の項を参照してください。
- Google設定にてカスタマイズされた結果を承認する必要があります。詳しくは「システム設定」セクション→107をご覧ください。

「通話」と「ダイヤル」

電話帳で利用可能な連絡先に電話するか、電話番号をダイヤルすることができます。

例:

- 「Grégory を呼び出す」
- 「Grégory ホームを呼び出す」
- 「留守番電話につないで」
- 「06 77 07... をダイヤルする」
- 「06 77 07... をダイヤルする」
- ...

「発信ログ」

電話の通話履歴を表示できます。

例:

- 「発信ログ」
- 「通話の表示」
- 「最近の通話」
- ...

« SMS »

指示してSMSを送信するか、SMSを読み上げます。

例:

- 「Fabien に送信する: 「後で会いましょう」...」
- 「SMS を読む」
- 「SMS に返信して」
- ...

注:

- マルチメディアシステムで SMS の読み取りを可能にするには、データ共有を有効にする必要があります。詳細については、「サービスの起動」→12の項を参照してください。

- Google設定にてカスタマイズされた結果を承認する必要があります。詳しくは「システム設定」セクション

→107をご覧ください。

- マルチメディアシステムは、走行中に SMS を受信した場合にのみ読み取りできます。

音声認識による「車両機能」コマンド

マルチメディアシステムに統合された音声コマンドを使用して、車両のいくつかの機能を有効にできます。

「車両」領域に関する音声コマンドによる制御を開始するには、音声コマンドを有効化し、確認音が聴こえたら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

- 「走行可能距離」
- 「暖房レベル」
- ...

「走行可能距離」

車両のバッテリーの寿命に関する特定の情報を取得できます。

例:

- 「Dunkerque に行けるか」
- 「バッテリーの交換時期はいつ」
- ...

「暖房温度」

暖房レベルに関連する特定の機能を有効にできます。

例:

音声認識の使用

- 「足元の送風をオンにする」
- 「ステアリングホイールのヒーターを起動にする」
- 「助手席ヒーターの温度を上げる」
- 「温度を揃える」
- 「温度を下げる」
- 「温度を 21 度に設定する」
- ...

音声認識による「接続サービス」コマンド

マルチメディアシステムに統合された音声コマンドを使用して、接続されているサービスに特定の質問をすることができます。

音声コマンドによる「接続サービス」の制御を開始するには、音声コマンドを有効化し、ピープ音が鳴ったら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

- 「天候」
- 「情報」
- 「スポーツ」
- 「イベント」
- ...

例:

- 「Paris の天気は。」
- 「最新のニュースは。」
- 「Paris - Marseille 戦のスコアは。」
- ...

スマートフォンの複製による音声認識の使用

スマートフォンの音声コマンドで制御される主な機能

スマートフォンがスマートフォンの複製を介してマルチメディアシステムに接続されている場合、いくつかの音声コマンドを使用して、スマートフォンで使用可能なドメインとアプリにアクセスできます。

「スマートフォンの複製」の詳細については、「Android Auto™、Apple CarPlay™」の項➔71を参照してください。

スマートフォンに装備されている次の項目の一部機能は音声コマンドで制御できます。

- ナビゲーション;
- 音楽
- 電話;
- ...

注: マルチメディアシステムでスマートフォンの音声認識機能を使用する場合は、通信可能範囲内にいるか確認してください。

音声認識によるスマートフォン複製コマンド



スマートフォンの複製を使用して音声認識を使用する場合は、電話のインターネット接続を使用しますが、携帯電話会社による課金と制限の対象となります。

マルチメディアシステムでスマートフォンの音声認識システムを使用するには、以下の操作が必要です。

- スマートフォンの音声認識機能がマルチメディアシステムと互換性があるか確認します。
- スマートフォンの複製を介して、スマートフォンをマルチメディアシステムに接続します。

詳細については、「電話の接続、接続解除➔59」および「Android Auto™、Apple CarPlay™」➔71の項を参照してください。

音声認識の使用

1

音声制御



ボタン**1**を長押しすると、画面を使わずにスマートフォン複製音声コマンドを使用でき、確認音が鳴って、画面に表示されます。

作動

音声認識システムを有効化するには次のように操作します。

– 車両の音声認識ボタン**1**を長押しします。

– 「複製」領域   から、使用中のアプリケーションに関連する音声コマンドを押します。

注: 音声認識を使用する場合は、必ず確認音が鳴ってから話してください。

音声認識に互換性のあるアプリケーションにリンクされた音声コマンドを開始するには、音声コマンドを有効にし、音声信号の後で要求を言います。

音声コマンドを使用して、スマートフォンの複製を使用して電話アプリケーションを使用します。

例:

- 「José を呼び出す」
- 「オフィスに電話して」
- ...

音声コマンドを使用して、スマートフォンの複製のためのナビゲーションアプリケーションを使用します。

例:

- ParisのChamps-Élyséesに進みます。
- 「自宅に帰る」
- ...

注: 音声制御に使用できるコマンドは、レプリケーション済みスマートフォン上のアプリケーションに応じて変動します。

カードキー

カードキー



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

地図を表示する

「ナビゲーション」領域  **1** を押して地図にアクセスします。

「アプリ」領域 、「Maps」の順に地図にアクセスすることもできます。

地図には、現在の位置や設定したさまざまな情報（表示、POI、ランドマーク、交通情報など）が表示されます。ナビゲーション地図を移動するには、画面上で希望する方向にドラッグします。

現在地に戻るには「センター回帰」を押します。

注：

－「Maps」はデフォルトのナビゲーションアプリです。他のアプリは、「

アプリ」領域  からアクセスできる「Google Play Store」からダウンロードできます。

－ 地図は、ユーザーの操作なしで自動的に更新されます。

進行中のルートのない「地図」画面



1. 「ナビゲーション」領域 。
 2. 「Google アシスタント」ナビゲーション音声コマンド。
 3. ナビゲーションの設定。
 4. ガイダンス音声設定: 「無効化」、「警告のみ」または「再有効化」。
 5. 「上部の北 (2D/北)」、「ユーザービュー」(2,5D) または「概要」として表示される表示モード。
 6. 交通事象を報告します。
 7. 地図の拡大／縮小: 地図を拡大／縮小するには「+」／「-」ボタンを押します。
- 注:** 画面で2本の指の間の隙間を広げたり狭くしたりして、拡大または縮小することができます。
8. 現在の位置。
 9. 現在の通りの名前。押して、補助機能にアクセスします。
 10. カード。
 11. 目的地検索バー。
 12. 確認後に地図を中央に再設定します。

カードキー

進行中のルート「地図」画面

2



12. 確認後に地図を中央に再設定します。



13. 車線と方向を計算したルートで続行する必要があります。

14. 到着予定時刻、交通情報、次区間または最終目的地までの残距離（車両装備に応じていずれか）、目的地到着時点での概算バッテリー充電残量に代表される行程情報。

15. 「ナビゲーションを停止」。

16. 「別のルートを選択する」。

17. 「経路に沿って検索」。

18. 「ルートの概要」。

19. 最もエネルギー効率の高いルート。

インストルメントパネルのナビゲーションディスプレイ



ステアリングホイールコントロール
20で選択したビューに応じて、インストルメントパネルに2つのタイプのナビゲーションディスプレイがあります。

カードキー

– ナビゲーション表示は、もう一方の表示 **A** よりサイズの小さい表示です。
– 専用表示領域 **B** での全画面ナビゲーション表示。

2つの表示モードで、インストルメントパネル画面にナビゲーション情報を表示できます。

– 従来の表示 **A**。インストルメントパネル画面の上部 **C** に情報が表示されます。

– 全画面表示 **B**。

注: インストルメントパネル画面のナビゲーションディスプレイは、「Google Maps」マルチメディアシステムナビゲーションでのみ使用できません。

機器によっては、「Android Auto™」を通じた複製ナビゲーションをインストルメントパネル画面に表示することができます。

インストルメントパネルの表示設定の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

ガイドンス音声設定



案内音声を設定するには、**4** を押して次の選択肢のいずれかを選択します。

- 「無効化」 **21**
- 「警告のみ」 **22**
- 「再有効化」 **23**

注: 「無効化」機能を選択すると、マルチメディアシステムから音声ガイドによる指示は行われません。

表示モード



地図表示は、ボタン **5** を押すことで変更できます。

「北が上の表示」(2D/北) **24**

地図は現在の位置を北向きに表示します。

カードキー

「ユーザーのお好み表示」 (2,5D) 25



地図は、現在の位置を 3D 地図の表面に表示します。

移動方向に自動的に向くようにします。

リリーフマップの傾きを変更するには、画面で2本の指を下から上に、または上から下にスライドします。

「概要」 26



地図には、現在の北向き位置と進行中のルートの概要が表示されます。

注: このビューは、ルートが進行中の場合にのみ使用できます。

ガイド

ルートが計算されると、ガイドが有効になります。マルチメディアシステムは、ルートに沿ってすべての方法を指示し、複数の段階にわたって従う方向の各交点を通知します。

段階 1: 準備

マルチメディアシステムは、ナビゲーション音声を使用して、すぐに操作を実施する必要があることを知らせます。

段階 2: 注意喚起

マルチメディアシステムは、実行する必要がある操作を通知します。

例: 「400メートルで、次の出口がある」。

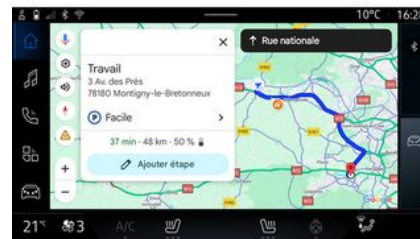
段階 3: 操作

マルチメディアシステムは、操作を実施する必要があることを示します。

例: 「次を右に曲がる」。

注: 走行に関する推奨事項に従わない場合、または計算されたルートを終了した場合は、マルチメディアシステムによって新しいルートが自動的に計算します。

「ルートの概要」



この機能は、現在のルートの詳細を表示するために使用されます。

カードキー

「経路概要」アイコン **18** を押すと次の情報を確認できます。

- 現経路の詳細
- 出発地、目的地、および各種経路提案
- 各段階の段階、距離および時間
- ...

交通事象を報告します



他のナビゲーションユーザーに知らせるために、「報告」アイコン**6**から、いつでも位置**8**の近くの交通事象を報告できます。リスト**D**からハザードのタイプを選択します：

- 事故
- 交通渋滞
- 道路工事
- 車線の閉鎖
- ...

行き先を入力

行き先を入力

2



ナビゲーションに関する 注意事項

ナビゲーションシステム
を使用したからといっ
て、いかなる場合にも、運転する
際の運転者の責任と警戒がなくな
るわけではありません。



安全のために、この操作
は必ず停止時に行ってくだ
さい。



特定の機能は、車両が停止
している間のみ使用できま
す。

「ナビゲーション」領域  **1** から、目
的地の検索バー **2** を押します。

音声認識を使用した住所の入力

音声コマンドを有効にし、町の名前、
番号および / または通り名、目的地エ
リアを入力します。

詳細は、「音声認識の使用」→23の項
を参照してください。

注: すべてのナビゲーション機能のメ
リットを利用するには、Google アカ
ウントに接続します。



目的地検索バー **2** からは次の項目にア
クセスできます。

- 最近の目的地
- カテゴリ (POI: ランドマーク)
- 保存された住所 (自宅、仕事、お気
に入りなど)。

注: オンライン目的地検索機能を使用
するには、現在地情報と関連データの
共有を有効化する必要があります。詳
しくは「サービスの有効化」→12の
項をご覧ください。

「自宅」および「勤務先」目的地



検索バーから、「自宅」または「勤務
先」の場所へのナビゲーションガイド
を実行できます。

「自宅」または「勤務先」を初めて選
択すると、住所を登録するよう求めら
れます。

注: マルチメディアシステムには、1
つの「自宅」または1つの「勤務先」
の住所しか保存できません。

行き先を入力

住所の検索

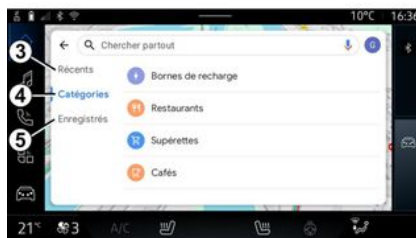


検索バー 2 では、完全または部分的な住所（国、町、郵便番号、通り、番路、交差点など）を入力できます。

手紙を入力すると、同様の通り名が表示されます。次のようなことができます：

- 選択内容を確定するには、画面上に表示されている通り名を押します。
- 検索結果の完全な一覧を見るには、提案された通りの一覧 **A** をブラウズします。

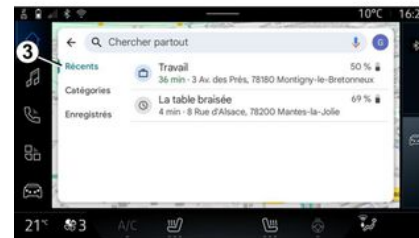
目的地を検索



目的地検索バー 2 では、次の種類の目的地タブにアクセスできます。

- 「最近の目的地」 **3**
- 「カテゴリー別目的地」 **4**
- 「保存されている目的地」 **5**

最近の目的地 3



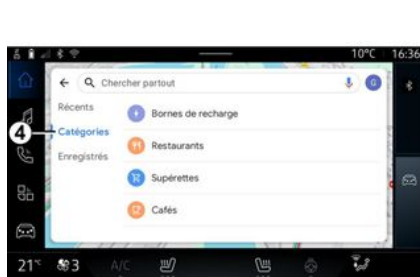
検索バーから「最近の目的地」タブを選択して、最近使用した目的地のリストにアクセスします。この目的地は、マルチメディアシステムや、「Google」アカウントに接続されているデバイスから自動的に保存されません。

目的地を選択してガイドを開始します。

行き先を入力

カテゴリ別目的地 4

2



検索バーから「カテゴリ」タブを選択して、POI カテゴリのリスト（ランドマーク）にアクセスします。

- 「充電ターミナル」
- 「レストラン」
- 「コンビニエンスストア」
- 「カフェ」。

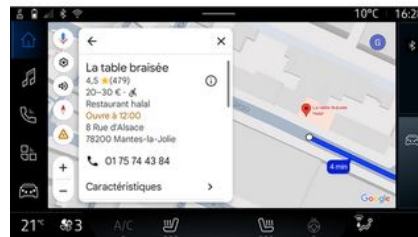
POI（ランドマーク）は、場所（出発地点、目的地、ルート上など）の近くのサービスエリア、施設、ツアーリスト設備です。



カテゴリを選択すると、マルチメディアシステムがPOIの一覧を **B** と地図上に表示します。次のようなことができます：

- **B** に表示されている POI を押して選択内容を確定できます。
- 表示されている POI の一覧 **B** をブラウズし、検索項目に対応する完全な一覧にアクセスすることができます。

注: POI のリストは「Google Maps」でリアルタイムに更新されます。



POI を選択すると、マルチメディアシステムに次の情報が表示されます（表示可能な情報がある場合）。

- 住所、営業時間、口コミなど
- 電話番号
- 到着予定時刻、距離
- ルートの概要
- ...

行き先を入力



すでに進行中の POI ルートを検索できます。

注: POI の検索は、検索実行時の位置情報をもとに実行されます。別の地理的エリアを検索する場合は、希望する場所を入力します。

検索して POI を選択した後、マルチメディアシステムは、進行中のルートに沿った情報（利用可能な場合）とその場所を表示します。

走行中の経路を表示するには **7** を押します。

走行中の経路に立ち寄り場所 POI を追加するには **6** を押します。

「保存」5

保存した場所にアクセスできます。

– 「テキスト付き」

- 「お気に入り」
- 「保存済み」
- 「アクセスする」
- 「連絡先」。

注: 保存された場所は、アカウントに接続されている他のデバイスで使用されている場合でも、Google アカウントと同期されます。

「地図を参照」



地図を表示するには、地図をドラッグしながら画面を指で押したままにし、地図を移動します。

地図を拡大／縮小するには、ボタン **9** を押すか、画面上で 2 本の指の間隔を広げたり狭めたりします。

現在地を地図の中央に戻すには「センター回帰」ボタン **8** を押します。

ルート進行中の目的地の入力



ルートが進行中の場合は、次の機能にアクセスできます。

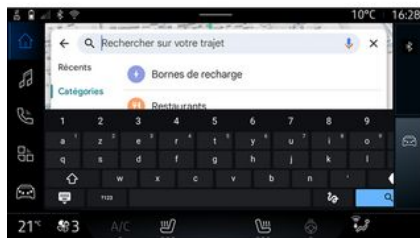
- 「別経路を選択する」 **12**
- 「経路に沿って検索する」 **10**
- 「ナビゲーション設定」 **13**
- 「ナビゲーションを停止」 **14**。
- 「経路概要」 **11**
- ...

「別経路を選択する」12

マルチメディアシステムが提案する別の経路を表示するには **12** を押します。

行き先を入力

「経路に沿って検索する」 10



この機能では、進行中のルートを検索したり、1つ以上のステージを追加することができます。次の項目を追加できます：

- 音声認識による検索
- 「充電ターミナル」
- 「レストラン」
- 「コンビニエンスストア」
- 「カフェ」。

「設定」 13



このメニューを使用して次のナビゲーション設定にアクセスできます。

- 「交通」
- 「3D建物」
- 「ガイド音」
- 「アラート」
- 「ルートオプション」
- 「自宅または勤務先の住所を変更する」（保存済みの場合）。
- 「オフラインマップ」
- 「機密保持センター」
- 「EV支払いフィルター」。
- 「詳細／ヘルプ」

使用可能な「設定」の詳細については、「ナビゲーション設定」➔42の項を参照してください。

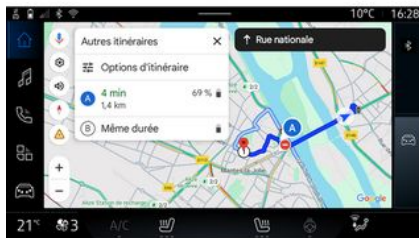
「ナビゲーションを停止」 14



この機能を使用して、現在のルートを確認してキャンセルします。**14**を押すと現在のナビゲーションを停止できます。

行き先を入力

「経路概要」 11



経路概要 11 では、走行中の経路と他の代替経路を表示できます。

ルート の 1 つを押すと、行き方と距離と時間を表示できます。

電気自動車の「ナビゲーション」領域

マルチメディアシステムの構成は、電気自動車のエンジンによって異なります（例: 「充電ステーション」）

補助メニューとさまざまな設定が表示されます。

注：

– 利用可能な充電ポイントを表示するには、サービスを有効にする必要があ

ります。詳しくは「サービスの有効化」→ 12 の項をご覧ください。
– すべてのナビゲーション機能のメリットを利用するには、Google アカウントに接続して、車両に関する情報（充電ソケットのタイプなど）を入力します。

充電端子の設定



充電端子設定 15 では、下記のような基準を満たす充電端子に限りナビゲーション画面に表示される状態にするためのフィルタを 16 にて設定できます。

- 充電速度（150 KW 以上など）。
- 接続可能種のソケット（コンバインド充電システム（CCS）対応タイプ 2 ソケットなど）。
- 使用できる決済手段（Mobilize Charge Pass など）。

フィルタを有効化／無効化するには、次のものを押します。

- 充電速度 17。
- 接続可能ソケット 18。
- 決済手段 19、
- 充電時間 20。

行き先を入力

注: フィルタが有効化されると、その証としてフィルタアイコンが強調表示されます。

2

行き先を入力

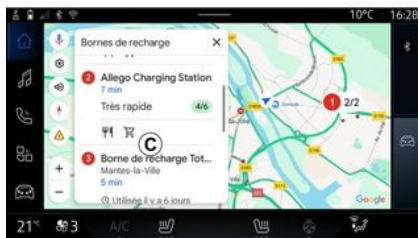


目的地を入力すると、マルチメディアシステムが、車両のバッテリー充電残量を踏まえて、該当目的地への到着可否を通知します。

目的地に到着できる場合、目的地到着時点での概算バッテリー充電残量が **21** に表示されます。

注:

- 案内が開始されると、走行中は、目的地到着時点での概算バッテリー充電残量が継続的に更新されます。
- 行程時間には充電時間も含まれます。



充電停止が1回しか必要ない場合は、充電ステーションを選択できます。

目的地に到達するために複数の充電が必要な場合は、合計ルートを最小に保つために、マルチメディアシステムによって最適化された充電ステーションの組み合わせが自動的に計算されます。

一覧 **C** 内では、公共充電ステーションの名称を確認でき、地図上では、行程や、各種充電ステーション所在地を確認できます。

注: 充電スタンドのリストは「Google Maps」でリアルタイムに更新されます。



次の詳細情報を確認するには、**C** に表示されている充電ステーションのいずれかを押します。

- 名前、分類、営業時間、住所
- 使用可能なソケットのタイプと数
- 目的地到着時点での時刻、走行距離、概算バッテリー充電残量。
- 支払い方法
- ...

注: 画面に表示される充電ソケットの可用性に関する情報は、ナビゲーション中に変更される場合があります。

行き先を入力



次の方法を使用できます。

- ステーションまでのナビゲーション案内を開始すること
- ステーションに電話をかけます。
- ...

ナビゲーションの設定

「設定」メニュー

2



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



ナビゲーション設定にアクセスするには、「ナビゲーション」領域  から「設定」アイコン **1** を押します。



- 「アラート」 **5**
- 「経路オプション」 **6**
- 「自宅または職場の住所」 **7**。
- 「オフライン地図」 **8**
- 「秘密保持センター」 **9**
- 「EV支払いフィルター」 **10**。
- 「詳細／ヘルプ」 **11**
- 「交通情報」提供機能 **12** の有効化／無効化。
- 「建物 3D 表示」機能 **13** の有効化／無効化。
- 「アラート」機能 **14** の有効化／無効化。

「交通情報」提供機能2

この機能を使うと、次のような交通情報をリアルタイム受信できます。

- お住の地域の交通情報や事件情報。
- 最寄りの道路での事故、道路工事、閉鎖に関する情報。

- ...
「交通情報」提供機能を有効化／無効化するには **12** を押します。

「設定」アイコン **1** からは次の項目に関する設定にアクセスできます。

- 「交通情報」提供機能 **2**
- 「3D建物」 **3**。
- 「案内音」 **4**

ナビゲーションの設定

「3D建物」 3



マッピングで許可されている建物を3Dで表示することを選択できます。この機能を有効化/無効化するには、**13**を押します。

「案内音」 4



この設定では次の操作を行えます。

- 「ナビゲーション」の音を消すこと **15**
- 「ナビゲーション」の音は消し、「交通」に関する警告音だけ鳴らすこと **16**
- 音声案内音を無効化すること **17**
- 「ナビゲーション」の音量をテストして音声案内の音量を調整すること **18**

「アラート」 5

この機能を使用すると、運転に影響を与える可能性のある事故や状況に関するアラートを受け取ることができます。

アラートを有効化/無効化するには、**14**を押します。

「経路オプション」 6



この設定では、経路に関する次のオプションを有効化/無効化できます。

- 「主要道路を避ける」
- 「有料道路を避ける」
- 「フェリーを避ける」。
- 「エネルギー効率を優先する」。

「自宅または職場の住所」 7

このメニューから自宅と職場の住所を設定できます。

ナビゲーションの設定

「オフライン地図」 8



オフラインマップを使用すると、マルチメディアシステムにマップをダウンロードして保存できるため、インターネット接続が遅い場所、アクセスできない場所、またはインターネット接続を使用したくない場所に移動するときにマップを使用できます。

オフライン地図の一覧は **A** にあります。

オフライン地図を「カスタム選択」に追加するには、**19** を押します。

カスタム選択



この機能を使用して、マップ上のエリアとその情報を選択してダウンロードすることができます。

マップを縮小または拡大して、ダウンロードする選択を調整します。

「秘密保持センター」 9



このメニューでは、次のデータの共有について構成できます。

- 「運転データを Google と共有する」
- 「オフラインマップ」。

車両の位置設定に直接移動するには、「オフラインマップ」メニューから「位置設定にアクセス」 **20** を押します。

ナビゲーションの設定

「運転データを Google と共有する」

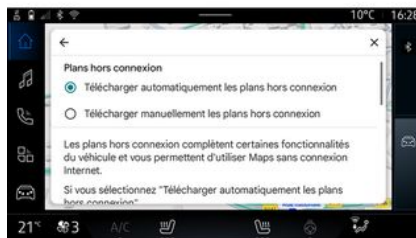


走行と位置のデータを Google と共有できます。この機能を使用して、ナビゲーション、リアルタイムの交通状況、「オフライン地図」の利用可能性など、Googleによってお客様や他のユーザーに提供される情報を改善することができます。

共有には次の場合があります：

- 「接続切断」
- 「詳細なナビゲーション中」のみ有効にする
- 「常時作動」

「オフラインマップ」のオプション

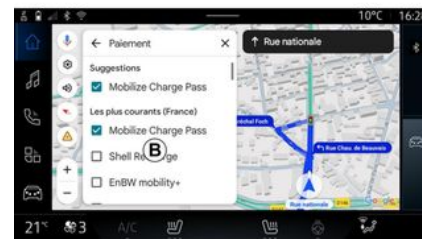


次の方法で、オフラインマップの更新をダウンロードすることができます。

- 自動的に
- または
- 手動で。

注：詳細については、マルチメディア画面に表示される詳細と手順を参照してください。

「EV支払いフィルター」 10。



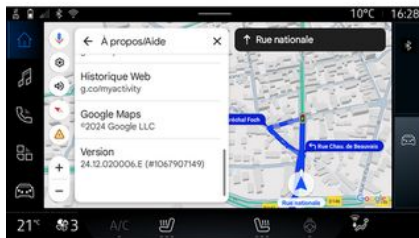
このメニューでは、フィルタリングしたい、電気自動車充電ステーションでの決済方法を一覧 B の中から選択できます。

2

ナビゲーションの設定

「詳細／ヘルプ」 11

2



このメニューから、情報にアクセスし、次の要素を使用できます。

- 「オフライン地図に関するヘルプ」
- 「Open Sourceライセンス」
- 「ヘルプセンター」
- 「ウェブ履歴」
- « Google Maps » ;
- 「バージョン」
- ...

音源

はじめに



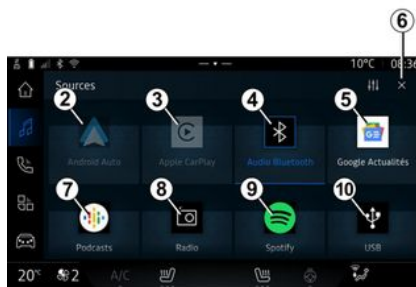
「オーディオ」領域  から、「ソース」**1**を押して音源を選択できます。

ステアリングコラム制御を使用して、オーディオソースを選択することもできます。詳細については、「コントロールの概要」の項 **➔ 8** を参照してください。

音源は、イクイップメントレベルによって異なる場合があります。

「Google Play Store」アプリケーションからダウンロード可能な音源のみが表示され、マルチメディア画面で選択できます。

「音源」画面



2. 「Android Auto™」ソース。
3. 「Apple CarPlay™」ソース。
4. 「Bluetooth®」音源。
5. 「Google News」ソース。
6. 「音源」画面を終了できます。
7. 「Podcasts」ソース。
8. 「ラジオ」ソース。
9. 「アプリ」ソース。
10. 「USB」ソース（USBポート）。

« Android Auto™ »

このソースを使用して、スマートフォンの複製を介して「Android Auto™」アプリが装備されている場合は、ス

マートフォンから音楽を聴きます。詳細については、「Android Auto™、Apple CarPlay™」 **➔ 71**と「音楽」 **➔ 53**の項を参照してください。

« Apple CarPlay™ »

このソースを使用して、スマートフォンの複製を介して「Apple CarPlay™」サービスが装備されている場合は、スマートフォンから音楽を聴きます。詳しくは、「Android Auto™、Apple CarPlay™」の項 **➔ 71** をご覧ください。

「Bluetooth®オーディオ」

このソースを使用して、Bluetooth® 接続を介してスマートフォンの音楽を聴くことができます。詳細については、「音楽」 **➔ 53** および「電話の接続、接続解除」の項 **➔ 59** を参照してください。

「アプリ」

このソースを使用して、ストリーミング音楽アプリで音楽を聴き、「Google Play Store」アプリからダウンロードしたオーディオアプリにアクセスします。詳細については、「音楽」 **➔ 53** および「アプリケーション管理」 **➔ 75**の項を参照してください。

音源

« ラジオ »

このソースを使用してラジオを聴きます。詳細については、「ラジオを聴く」 ➔ 49 の項を参照してください。

3

「USB」 (USBポート)

このソースを使用して、USBドライブから音楽を聴くことができます。詳細については、「音楽」の項 ➔ 53を参照してください。

注：

- 形式によっては、システムで認識されない場合もあります。
- USBドライブは、FAT32またはNTFS形式でフォーマットされ、最小8 Go、最大128 Goの容量が必要です。

« Podcasts »

このソースを使用して「Podcasts」を聴きます。

« Google News »

このソースを使用して「Google News」を聴きます。

ラジオを聞く

はじめに



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



保存された局を選択したり、ステアリングコラムコントロールのボタンを使用して選択したモードに応じて、ラジオ局をリストでスクロールしたりできます。ステアリングコラム上にある制御機能の詳細については、「制御機能の概要」セクション➔8をご覧ください。

「ラジオ」ソースを選択するには、「オーディオ」領域  にてボタン **3** を押します。

「ラジオ」ソースには、「アプリ」領域  からアクセスすることもできます。

ステアリングコラム制御を使用して、オーディオソースを選択したり、ステーションを参照したり、選択モード（「リスト」、「お気に入り」）を変

更できます。詳細については、「コントロールの概要」の項を参照してください。➔8.

「ラジオ」画面



A. 「リスト」モードタブ。

B. 「お気に入り」モードタブ。

C. 利用可能なラジオ局のリスト。

D. 現在再生中のラジオ局の再生エリアで、フルスクリーン表示にアクセスします。この領域を押すと、現在再生中のトラックがフルスクリーンで表示されます。



1. 「オーディオ」領域  にアクセスします。

2. 「アプリ」領域  にアクセスします。

3. オーディオ「ソース」にアクセスできます。

4. 「オーディオ設定」にアクセスできます。

5. 「ラジオ設定」にアクセスできます。

6. 現在再生中のラジオ局。

7. 局を「お気に入り」に保存できます。

8. 現在の局のラジオ / 再生を停止します。

ラジオを聞く

9. 聴取中のラジオ局名。テキスト情報（アーティスト、曲など）。

10. 聴取中の「ソース」の種類。

注: 一部の情報は、特定のラジオ局でのみ使用可能です。

全画面表示 E



全画面聴取モードの場合に現在徴収中のラジオ放送局を領域 D に表示するにはこの領域を押します。

全画面表示 E を終了するには 11 を押します。

聴取中の放送局DABが対応している場合は、車両の静止中に、聴取しているラジオ放送局のロゴを押すことで、「画像の自動スクロール表示」を有効化できます。

ラジオのバンドを選択する

次のラジオの周波数帯をセッティングするには、ボタン5を押します。

- « FM »:
- « 代替周波数 (AF) »;
- « 地域 ».
- 「DAB」(地上波デジタルラジオ):
- « 切替 (DAB ↔ FM) »;
- 「自動スクロール画像」。

ラジオ番組

聴取中の放送局に応じて、現在聴取中の番組と今後24時間の間に放送される番組の詳細を確認できます。

該当番組の一覧を表示するには、ボタン13を押します。

注: この機能は、放送局がDABバージョンに対応している場合に限り使用できる、放送局別機能です。

局の検索

一覧にアルファベット順で表示されている、現在のラジオ周波数帯内にあるラジオ局を検索できます。次の放送局に進んだり前の放送局に戻ったりするにはボタン 12 を押します。

「お気に入り」との間でラジオ局の追加／削除を行えます

全画面表示モードか「リスト」モードから、「お気に入り」との間で現在聴取

中のラジオ局の追加／削除を行うにはボタン 7 を押します。

「リスト」モード A



このモードでは、マルチメディアシステムが捕捉しアルファベット順に表示されている局の中から希望の局を検索および表示できます。

すべての局を一覧表示するには、一覧 C をすばやくスワイプします。

リストからラジオ局を選択して、直接聴くことができます。

聴取中のラジオ局はミニプレーヤー D に表示されます。この領域を押すと、現在のラジオがフルスクリーンで表示されます。

「FM」周波数帯のラジオ放送局がRDSシステムを使用していないか、ラジオ

ラジオを聞く

の受信状態が悪い地域を車両が走行中である場合は、ラジオ放送局名は画面に表示されず、周波数のみ表示されます。

注:一部の情報は、特定のラジオ局でのみ使用可能です。

「お気に入り」モード B

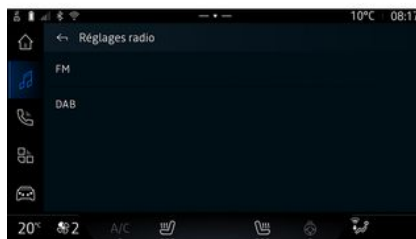


このモードでは、以前に記憶させたラジオ局にアクセスできます。

リストからラジオ局を選択して、直接聴くことができます。

聴取中のラジオ局はミニプレーヤー D に表示されます。

「ラジオ設定」メニュー 5



「ラジオ設定」メニュー 5 では、ラジオに関する次の機能にアクセスできます。

- 「TA/I-Traffic」（装備により異なります）」
- « FM » ;
- 「DAB」（装備と国によって異なります）
- 「i-Adaptivité」（装備と国によって異なります）

「TA/I-Traffic」（交通情報）

（装備により異なります）

この機能を有効にすると、お使いのオーディオシステムが、一部の FM および DAB ラジオ局が送信している交

通情報を自動的に受信することができます（国によって異なります）。

その後、交通情報を送信している局の周波数を選択する必要があります。別の音源を聴いている場合（USB、Bluetooth®）、その音源は交通情報の着信時に自動的に中断されます。

« FM »

この調節で次の要素を有効または無効にできます：

- « 代替周波数（AF） » ;
- « 地域 ».

« 代替周波数（AF） »

「FM」ラジオ局の周波数は、地域によって変更される事があります。

走行地域が変わっても同じラジオ放送局の番組を聴き続けるには、「代替周波数（AF）」機能を有効化します。

オーディオシステムは、中断することなく周波数の変更に従います。

注: すべてのラジオ局がこの機能を提供しているとは限りません。

受信状態が悪いと、時々不要で不快な周波数変化を引き起こす可能性が有ります。そういう場合は、自動周波数再調整を終了させて下さい。

« 地域 »

「地域」の有効化中に信号強度が低下すると、聴取中の番組を引き続き聴き続けることができるよう、ラジオが新しい周波数帯に切り替えます。

ラジオを聞く

注：

－ 同一エリア内にある放送局であっても、番組やラジオ局名は異なる場合があります。

－ またラジオ局の中には、地域限定の周波数帯で放送している局もあります。この場合：

－ 「地域」が有効化されている状況であれば、システムは新地域の放送局への切り替えを行わず、通常とおり、当初の地域にある放送局間での切り替えを行います。

－ 「地域」が無効化されている場合は、放送番組が異なる場合でも、システムにより新地域の放送局への切り替えが行われます。

« DAB »

（装備と国によって異なります）

この調節で次の要素を有効または無効にできます：

－ « 切替 (DAB ↔ FM) »；

－ 「画像の自動スクロール」（車両装備に応じて異なります）。

« 切替 (DAB ↔ FM) »

この機能を有効にすると、現在再生中の DAB 局の受信状態が悪い場合、ラジオシステムは同等の FM 局に自動的に切り替わります（利用可能な場合）。

オーディオシステムでは、受信可能になるとすぐに、デジタル DAB ラジオ局に自動的に戻ります。

注：この機能は、局に FM および DAB バージョンがある場合にのみ使用できます。

「画像の自動スクロール」。

この機能が有効化されており現在聴取中の放送局 DAB が対応している場合、全画面聴取モードでは画像がスライドショー形式で画面上にスクロール表示されます。

注：この機能は、再生中のラジオ局のロゴを押すことにより、停止している車両でのみ使用できます。

« i-アナウンスメント »

（装備と国によって異なります）

この機能が有効になっている場合、一部の「DAB」ラジオ局が自動送信している情報をすぐに聴く事ができます。

続いて別の音源を選択すると、選択したプログラムのタイプの放送が、他の音源の読み込みを中断します。

この設定では、次の項目に関するお知らせを有効化／無効化できます。

- － « 緊急事態 »；
- － « 警告 »；
- － « 天候 »；
- － « ニュース »；
- － « イベント »；
- － « スポーツ »；

－ « その他 »。

« オーディオ設定 » 4

オーディオ設定は **4** アイコンから調整できます。

調整可能な設定の詳細については、「オーディオ設定」の項 ➔ **56** をご覧ください。

音楽

はじめに



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



ステアリングコラムコントロールのボタンを使用して、オーディオソースを変更できます。



聴取する音源を選択するには、「オーディオ」領域  で「ソース」1を押します。

ステアリングコラムコントロールを使用して、聴く音源を選択し、音楽トラックとフォルダを参照できます。詳細については、「コントロールの概要」の項を参照してください。→ 8.

音楽ソースは、イクイップメントレベルによって異なる場合があります。使用可能なソースのみがマルチメディア画面に表示され、選択できます。

音楽ソースは、イクイップメントレベルによって異なる場合があります。使用可能なソースのみがマルチメディア画面に表示され、選択できます。

注：

- 使用するオーディオストリーミングアプリケーションによって、表示とコントロールが異なる場合があります。
- 形式によっては、システムで認識されない場合もあります。
- USBドライブは、FAT32またはNTFS形式でフォーマットされ、最小8 Go、最大128 Goの容量が必要です。

「ソース」メニュー1



「ソース」メニュー 1 では、選択可能な各種音源から音楽を選択できます。

マルチメディアシステムに接続された入力ソースを選択して、次のリストからアクセスします：

- « ラジオ »；
- « USB »（USB ポート）、
- « Bluetooth® オーディオ »
- « Podcasts »；
- « Apple CarPlay™ »；
- « Android Auto™ »；
- オーディオストリーミングアプリ
- ...

音楽ソースは、イクイップメントレベルによって異なる場合があります。

注: 他の音源は、「Google Play Store」経由でインストールでき、イ

音楽

インストールすると選択可能な音源の一覧に表示されます。アプリのインストールの詳細については、「アプリの管理」➔75の項を参照してください。

「再生」モード



A. 現在再生中のオーディオトラックに関する情報（曲名、アーティスト名、アルバムタイトル、ソースから転送された場合のアルバムカバー）。

2. 「オーディオ」領域  にアクセスできます。

3. 現在の再生リストにアクセス

4. 再生中の曲の時間や長さ。

5. オーディオトラックのリピートを一度だけオン/オフにするか、連続リピートします。

6. 次のトラックを再生します。

7. オーディオトラックの再生を一時停止／再開します。

8. 短押し：再生中の曲の先頭に戻ります。

（最初の短押しから3秒以内に）再度短押し：前曲を再生します。

9. オーディオトラックのランダム再生を有効または無効にします。

10. 現在再生中のオーディオトラックのプログレスバー。

11. ミニプレーヤーでリストモードに戻ります。

注：

– 再生中の曲を全画面表示 **A** にするかミニプレーヤー **B** に表示するかを選択できます。

– 電話およびストリーミング音楽アプリケーションによっては、特定の機能が利用できない場合があります。

「Bluetooth®」、「USB」、およびオーディオストリーミングアプリケーション



「Bluetooth® オーディオ」、「USB」音源、または音楽ストリーミングアプリケーションでは、次のカテゴリー別プレイリストにアクセスできます。

- « アーティスト »；
- « アルバム »；
- « ソングス »；
- « Playlists »；
- ...

再生中の曲がミニプレーヤー **B** に表示されます。この領域を押すと、再生中の曲が再生モード **A** で表示されます。

音楽

「検索」

（「ソース」の種類に応じて異なります）



「検索」アイコン **12**（使用可否は、

「オーディオ」領域  内にある「ソース」の種類に応じて変わります）を押すと、次のものを検索できます。

- トラックタイトル
- アルバム
- アーティスト
- プレイリスト。
- ...

キーボードを使用して名称を入力できます。

最初の文字を入力すると、マルチメディアシステムは関連する名前をすぐに提案します。

提案のリストから名前を選択します。

「音量設定」 **13**

オーディオ設定は **13** アイコンから調整できます。

調整可能な設定の詳細については、「オーディオ設定」の項 ➔ **56** をご覧ください。

音を調整する

はじめに



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

3



アイコン **1** を押すと、次のオーディオ設定を調整できます。

- «ムート»;
- «音».

«ムート»



タブ **A** では、次の既定音楽イコライザーのいずれかを選択できます。

- 「フィデリティ」
- 「スピーチ」
- 「ダイナミック」
- 「ヘビー」
- ...

注: 選択できる音楽イコライザーは、車両装備に応じて変動します

«音»



タブ **B** では、次の設定を調整できます。

- «標準音量に調整»;
- «バランス/フェダー»;
- «サウンドコントロール»;
- «音量/スピード».

音を調整する

« バランス/フェーダー »



この機能は、サウンドの配分バランスを設定します。車両の乗員全員に音が聴こえるよう最適化するか、後部座席の乗員が快適に過ごせるように音が鳴る設定（後部座席ではオーディオが消音になり、車両の前席では控えめの音量で再生する設定）にするには「中心」か「フロント」を押します。

画面へのタッチ中か、「マニュアル」の選択中には、対象 **2** を移動させることで設定を変更できます。

« サウンドコントロール »

この機能を使用して、オーディオをイコライズすることができます。

– 「Subwoofer」を有効化／無効化する方法

- « 低音域 » ;
- « 中音域 » ;
- « 高音域 » ;
- ...

「Subwoofer」モードは、車両内の他のスピーカーに過負荷をかけることなく、深い低音を再現します。

« 音量/スリート »

この機能は、車両速度に基づいてボリュームレベルを自動的に調整するために使用できます。感度を調整するには「音量/スリート」を押し、無効化するには「音量/スリート」音量バー上を直接押します。

« 標準音量に調整 »

この機能では、あるオーディオソースから別のオーディオソースに対して一定の音量を維持することができます。

電話のペアリングや接続

電話のペアリング、ペアリング解除



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

4

はじめに

この機能により、お使いの電話がマルチメディアシステムとペアリングされます。

「新しいデバイスとペア設定」メニューには次の方法でアクセスできます。

- 「電話」領域  にて、「Bluetooth®を用いて接続」を押す方法（ペアリング対象電話が表示されていない場合）。
- 「アプリ」領域  し、「デバイススマネージャー」する方法。
- 「車両」領域  し、「設定」>「Bluetooth®」の順に操作する方法。
- 「電話」領域  にて、「設定」

アイコン  を押し、「デバイススマネージャー」を押す方法（電話がペアリング済みの場合）。

- 「オーディオ」領域  で、「Bluetooth®を使用して接続」を押します（電話がペアリングされていない場合）。
- 通知センターで、「設定」アイコン  を選択し、次に「Bluetooth®」を選択します。

注: 電話がマルチメディアシステムに接続されていないと、一部のメニューは無効となり、システムにより電話の接続が促されます。

電話をペアリングすると、マルチメディアシステムが電話機能にアクセスできるようになります。お客様の連絡先または個人データのコピーは、マルチメディアシステムに保存されません。

マルチメディアシステムで「dual SIM」装備されている電話を管理するには、電話をデフォルトSIMで使用する設定を行います。電話の取扱説明書を参照してください。

注:

- ペアリング前には、電話のBluetooth®機能が有効化されており、ステータスが「表示」に設定されているか確認してください。
- 電話をペアリングするには、車両を停止させる必要があります。

電話のペアリング

ハンズフリー電話システムを使用するには、お使いの Bluetooth® 電話をマルチメディアシステムとペアリングさせます。

お使いの電話の状態表示の有効化に関する詳細については、お使いの電話の取扱説明書をご覧ください。

電話が、連絡先、発信ログ、メッセージなどの共有の許可を求めてくる場合があります。共有を受け入れて、マルチメディアシステムにそれらの情報が表示されるようにします。

「電話」領域  から、「Bluetooth®を使用して接続」を選

択するか、「アプリ」領域  からマルチメディアシステムの「デバイススマネージャー」を選択します。

- 電話のペアリングを求めるメッセージが画面に表示されます。
- 「新しいデバイスとペア設定」を押します。マルチメディアシステムが、Bluetooth®が有効化されており認識できる近くの電話を検索します。
- 提案のリストから電話を選択するか、電話からマルチメディアシステムを選択します。

提案されたコードが電話とマルチメディアシステムの間で同じ場合、マルチメディアシステム画面と電話にメッ

電話のペアリングや接続

セージが表示され、ペアリング要求に同意するメッセージが表示されます。

電話がマルチメディアシステムとペアリングされると、「デバイスマネージャー」経由で使用可能なサービスを選択できます。詳細については、「電話の接続、接続解除」→59の項を参照してください。

注: 電話はペアリング時に使用されるプロファイルにリンクされています。電話は、他のユーザープロファイルでは使用できない場合があります。

別の電話のペアリング



「デバイスマネージャー」アプリケーションを使うと、次の手順で、新しい電話をマルチメディアシステムとペアリングできます。

- 「Bluetooth® (新端末をペアリング)」を押してから **1** 「新しいデバイスとペア設定」アイコンを押します。
- 提案されたリストから新しい電話を選択し、ペアリング手順を完了します。

新たな電話は、「車両」領域  から「設定」>「Bluetooth®」>「新しいデバイスとペア設定」の順に選択し、候補一覧の中から新たな電話を選択してペアリング手順を完了する方法でも追加できます。

新しい電話がマルチメディアシステムとペアリングされました。

電話は、同時に6台までペアリングできます（有線連携Android Auto™またはApple CarPlay™を介して使用される電話に限り、「デバイスマネージャー」に加えて表示されます）。上限を超える新たな電話をペアリングする場合は、その前に、不要な電話のペアリングを手動で解除することをおすすめします。手動解除せずに新たな電話をペアリングすると、「デバイスマネージャー」は、直近の使用日が最も前の端末を新端末と置き換えます。

電話のペアリング解除

「デバイスマネージャー」メニューでは、次の手順でマルチメディアシステムと電話のペアリングを削除できます。

- 電話の横にあるアイコン **2** を押します。
- 「はい」を押して確定します。

電話の接続、取り外し



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



特定の機能は、車両が停止している間のみ使用できます。

電話の接続

電話を接続するには、電話を事前にペアリングする必要があります。詳しくは、「電話のペアリング、ペアリング解除」→58の項をご覧ください。

注: マルチメディアシステムに電話が切断されていない場合、いくつかのメニューは無効になります。

電話を接続すると、マルチメディアシステムが電話機能にアクセスできるようになります。お客様の連絡先または個人データのコピーは、マルチメディアシステムに保存されません。

マルチメディアシステムで「dual SIM」装備されている電話を管理するに

電話のペアリングや接続

は、電話をデフォルトSIMで使用する設定を行います。電話の取扱説明書を参照してください。

自動接続

マルチメディアシステムが起動すると、ハンズフリー電話システムが、近く（最大10 m）でBluetooth®が作動中のペアリングされている電話を検索します。システムが、最後に接続された電話のデータ（電話帳、音楽など）を自動的に表示します。

注: 電話がマルチメディアシステムに自動的に接続される際のデータ（電話帳、SMS、連絡先など）の表示は、電話をマルチメディアシステムとペアリングした時にデータ共有を許可した場合にのみ、有効となります。詳しくは、「電話のペアリング、ペアリング解除」➔58の項をご覧ください。



詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。

手動接続

「Bluetooth®」メニューを使用して、マルチメディアシステムに電話を手動で接続/切り離しできます。このメニューには、次の場所からアクセスできます。

– 「車両」領域  > 「設定」 > 「Bluetooth®」。

– 通知センターで、「設定」  を選択し、次に「Bluetooth®」を選択します。

「Bluetooth®」メニューにペアリング済み電話一覧が表示されます。

接続したいサービスと電話を選択し、Bluetooth®が有効化されていることを確認します。

注: 電話を接続するときに通話中の場合は、車両のスピーカーに通話が自動的に転送されます。

サービスデータの管理



マルチメディアシステムを介して電話帳、音楽およびインターネット接続に

直接アクセスするには、「Bluetooth®」メニューの「ペアリング中のデバイス」にある「プロフィール」からサービスデータ共有を許諾しなければなりません。「ペアリング済み端末」一覧からお使いの電話を選択し、以下の希望サービスを有効化/無効化します。

– 「電話」：電話をかけたり受けたりできます。

– 「マルチメディア」：音楽にアクセスできます。

– 「インターネットアクセス」：Bluetooth®によるインターネット接続共有にアクセスする（「システム設定」➔107の項を参照）。

– 「SMS」：SMSを送受信できます。

– 「連絡先の共有」：電話帳と通話ログにアクセスします。

– ...

注: サービスがハイライト表示され、作動していることを示します。

電話のペアリングや接続



「インターネットアクセス」サービスの使用中にデータ転送を高速化するには、「アクセスポイントや接続の共有」WIFI 経由で電話のインターネット接続を使用する方法も使えます（ご契約の携帯電話会社によっては別料金や諸制限の対象となります）。

« デバイスマネージャー »



端末マネージャーを使うと、接続済み電話のサービスを管理できます。各サービスの管理には、「デバイスマ

ネージャー」アプリ  を用いるのが最善です。

「アプリ」領域  から「デバイスマネージャー」候補を確認し、お使いの電話を候補一覧の中から選んだら、有効化／無効化する電話機能を次の中から選択します。

- « 電話 » 1;
- 「音楽」 2。
- スマートフォンレプリケーションアプリケーション 3
- 電話のペアリング解除 4

注：

- 作動すると、サービスアイコンが強調表示されます。
- 自動データ転送が可能な電話もあります。

「ホーム画面」領域   の「電話」ウィジェットにある「デバイスマネージャー」アイコンから「デバイスマネージャー」にアクセスすることもできます。

接続した電話を充電する

「デバイスマネージャー」から、既にペアリング中でデバイス一覧内にある別の電話に接続するサービスを選択します。

注: 接続した電話を充電するには、最初に複数の電話をペアリングする必要があります。

電話の切断

「アプリ」領域  から「デバイスマネージャー」にアクセスし、切断したい電話サービスについて強調表示されているアイコンを押します。

- « 電話 » 1;
- 「音楽」 2。
- スマートフォンレプリケーションアプリケーション 3。

電話との接続は「Bluetooth®」メニューから解除することもできます。解除するには、「ペアリング済み端末」一覧から該当電話を選択し、「接続解除」を押します。

注: 電話を取り外す時に通話中の場合、通話は自動的にお使いの電話機に転送されます。

通話管理

電話をかける

「電話」領域

「電話」領域  から。

注：電話をかけるには、電話をマルチメディアシステムに接続する必要があります。詳細については、「電話の接続、接続解除」→59の項を参照してください。

電話をかける



次を選択して電話をかけることができます。

– 「最近の通話履歴」タブ **A** に表示される通話履歴内の番号

- 「連絡先」メニュー **B** から選択できる電話帳内にある番号
- 「お気に入り」メニュー **C** から選択できるお気に入り内にある番号
- 「キーボード」メニュー **D** から操作できる数字キーパッドを用いて入力できる番号

「通話中」画面



1. 連絡先の名前または電話番号。
2. 現在の通話時間。
3. 現在の通話を保留にする。
4. 通話を電話機に転送する。
5. 電話を切る。
6. デジタルキーパッドにアクセスして番号をダイヤルする。
7. マイクを無効または有効にします。

電話を受ける



着信すると「着信」画面が表示され、次の情報が表示されます。

通話管理

- 電話帳に登録されている氏名（氏名がお気に入りまたは電話帳に登録されている場合）
- 通話者の電話番号（名前が電話帳に存在しない場合）、
- 「番号非通知電話」（番号を表示できない場合）

「応答」

電話に出るには、ステアリングホイール上の制御ボタン **10** を押すか、マルチメディアシステム画面上の「応答」ボタン **8** を押します。

コールを「拒否」

着信を拒否するには、ステアリングホイール上の制御ボタン **10** を 2 回押すか、マルチメディアシステム画面上の「拒否」ボタン **9** を押します。

発信者はボイスメールにリダイレクトされます。

通話中



通話中に以下ができます：

- ステアリングコラムのコントロールボタンまたはマルチメディア画面の音量ボタンで音量を調整する。
- 「通話を終了」 **5** を押すか、ステアリングホイール上のボタン **10** を押して電話を終了する。
- ボタン **3** を押して通話を保留にする。通話を再開するには、もう一度ボタン **3** を押します。
- 「電話に転送」ボタン **4** を押して、接続されている電話に通話を転送する。
- 2 番目の電話に応答したり、**11** を押して 2 つの通話を切り替えたりする。

注：

- 2 番目の着信に応答すると、最初の通話は自動的に保留になります。
- 通話中に割り込み着信に応答することはできませんが、別の発信を行うことはできません。

- 「キーボード」ボタン **6** を押してデジタルキーパッドにアクセスする。
- 「消音」ボタン **7** を押してマイクを無効化または有効化する。

通話中は、通話を終了することなく領域を変更できます。

「電話」領域  を押して戻ります。

通話を終了する

通話を終了するには、ステアリングホイール上の制御ボタン **10** か、マルチメディアシステム画面上の「通話終了」ボタン **5** を押します。

電話帳



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

通話管理



特定の機能は、車両が停止している間のみ使用できます。

「電話帳」メニュー



「電話」領域  から、「連絡先」タブ **B** を押して、マルチメディアシステム経由でスマートフォンの電話帳にアクセスします。

マルチメディアシステムによる、「dual SIM」装備電話の管理を可能にするには、正しい電話帳にアクセスできるように電話を構成します。

1. 電話の接続

2. 名前または番号で連絡先を検索します。

3. 詳細な連絡先。

注: 連絡先の詳細画面から正しく入力済みであれば、保存済み住所への経路案内を起動できます。

4. 接続されている電話の連絡先リスト。

電話メモリをダウンロードする

デフォルトでは、電話の接続の際に、ハンズフリー接続が作動している場合は、連絡先が自動的に同期されます。詳細については、「電話の接続、接続解除」→59の項を参照してください。

注: 電話帳とマルチメディアシステム経由でアクセスするには、電話のデータの共有を許可する必要があります。詳しくは、「電話のペアリング、ペアリング解除」セクション→58と、お使いの電話の取扱説明書をご覧ください。

連絡先「お気に入り」



「電話」領域  から、「お気に入り」タブ **C** を押してスマートフォンのお気に入りに保存されている連絡先にアクセスするか、マルチメディアシステムの「連絡先」リストから手動で追加します。

通話管理

連絡先「お気に入り」を追加



連絡先を「お気に入り」一覧に追加するには「お気に入りを追加」5を押して、マルチメディア画面に表示される指示に従います。

星印6を選択して連絡先の番号をお気に入りに追加することもできます。

連絡先を検索する

名前や電話番号を入力して連絡先を検索することができます。

虫眼鏡2を押します。画面に表示されるデジタルキーパッドを使用して、目的の連絡先の番号または文字の一部を入力します。電話帳には、入力した最初の文字で始まる連絡先のリストが表示されます。

機密性

お客様の連絡先または個人データのコピーは、マルチメディアシステムに保存されません。

機密保持のため、ダウンロードされた各連絡先は、対応する電話機が接続された場合에만表示されます。

発信ログ

「最近の通話」履歴にアクセスする

「電話」領域から、「最近」タブAを押して、通話履歴にアクセスします。

通話ログが新しい順に表示されます。

「最近の通話履歴」モード



1. 番号ラベル。
 2. 連絡先の名前または電話番号。
 3. 通話時間/日付
 4. 連絡先情報にアクセス。
 5. 発信（緑色の矢印）。
 6. 着信（緑色の下向き矢印）。
 7. 応答しなかった通話（赤い矢印）。
- 注: マルチメディア画面によっては表示されない情報もあります。

発信ログを閲覧する

通話のリストをスクロールするには、画面を上下にスワイプします。

通話管理

通話ログから電話をかける

電話する連絡先または番号のいずれかを押します。通話が自動的に開始されます。

電話番号を押す



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



1. ダイヤルした電話番号
2. 番号を削除します。
3. 連絡先の提案
4. 通話
5. デジタルキーパッド

「キーボード」にアクセスします

「電話」領域  から、「キーボード」タブ **D** を押します。

番号をダイヤルして電話をかける

「キーボード」タブ **D** から、発信するには、キーパッド **5** を使用して番号をダイヤルし、**4** ボタンを押します。

初めて電話番号を入力した瞬間から、マルチメディアシステムは、同一番号の相手 **3** を連絡先の中から提案します。

発信するには、発信先を選択してボタン **4** を押します。

音声制御を使用して番号を入力する

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、番号を指示することができます。これを行うには、音声コマンド機能を起動し、ビープ音が鳴ったら次の用に話します。

– 「電話」と言います。続いて呼び出す電話番号を発音します。

または

– 「電話」に続いて電話をかけたい相手の名前を言います。

マルチメディアシステムは、提供された番号を表示し、それを呼び始めます。

注: 連絡先に複数の電話番号（仕事、家庭、携帯電話など）がある場合は、選択することができます。例: 「電話 - Grégory - 自宅」。

音声コマンドの詳細については、「音声認識の使用」→ **23** の項を参照してください。



電話の仕様とモデルによっては、特定の機能が動作しない場合があります。



1. メッセージの送信者の名前 / 電話番号
2. 受信した時間
3. メッセージの開始

注: 走行中はメッセージのプレビューは許可されません。

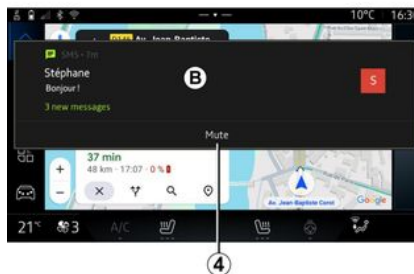
「SMS」にアクセスします。

通知センター **A** では、マルチメディアシステムを介して受信した SMS の着信電話にアクセスできます。

電話をハンズフリーシステムに接続する必要があります。また、すべての機能を使用するには、（モデルに応じて電話機の設定を使用して）メッセージの転送を承認する必要があります。

注: 車両装備によっては、走行中に受信した SMS に限りマルチメディアシステム経由で閲覧できます。

SMS の受信



マルチメディアシステムは、開いているメニューに表示されている **B** の警告メッセージにより、新しい SMS が受信されたことを通知します。

4 ボタンを押すと、会話を無効化して通知を停止できます。

デフォルトでは、ペアリングと電話の接続後に新しいメッセージを受信する

と、マルチメディアシステムで読むことができます。

注:

- 電話とマルチメディアシステムのペアリング後や接続中に受信したメッセージに限り確認できます。
- 通知が削除されたり、メッセージ送受信機能が無効化されたりすると、マルチメディアシステム上のメッセージにアクセスできなくなります。

SMS の読み取り

マルチメディアシステムは、受信時に合成音声を使用して SMS を読み上げることができます。マルチメディア画面に表示されている「再生」ボタンを押してから返信します。

また、「会話を無効化する」ボタンを押すことにより、会話を無効化し、通知が表示されないようにすることもできます。

SMS の読み取りを停止するには、「Hey Google Stop」と言います。

SMS に応答する

マルチメディアシステムでは、音声認識機能を用いた方法が、「応答」ボタンを押す方法でのみ SMS に応答できます。

音声コマンドの詳細については、「音声認識の使用」➔ 23 の項を参照してください。

電話の設定



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



これらの機能は、車両が停止している間のみ使用できます。

「設定」メニュー



電話をシステムに接続し、「電話」領域  から、「設定」アイコン



1を押します。

「設定」メニューから、次の設定にアクセスできます。

- 「電話接続」、
 - 「アクティブコール」
 - 「秘密保持」
- 「ホーム画面」
- 「連絡先リストの順序」
- « デバイスマネージャー »;
- 「Bluetooth®設定」

「ホーム画面」

この設定は、電話 領域のホーム画面が開始したときに表示されるタブを選択

するのに使用します  :

- 「最近」(デフォルト)
- 「連絡先」
- « お気に入り »;
- « キーボード ».

「連絡先リストの順序」

この設定を使用して、アルファベット順に連絡先を表示できます。

- 「名」
- « 名前 ».

注: 選択は、次にマルチメディアシステムを再起動すると有効になります。

「電話の呼び出し音」



次のことを行うには、「車両」領域



から、「設定」メニュー>「音」の順に押します。

- 「着信音量」を調整する **2**
- 「電話呼び出し音」の種類を選択する **3**

詳しくは「システム設定」の項➔107をご覧ください。

ワイヤレスチャージャー

誘導充電エリア

i 電話の充電中は、誘導充電ゾーン**1**には、何も（USBドライブ、SDカード、始動カード、クレジットカード、宝石類、キー、コインなど）置かないでください。充電の際には、磁気カードやクレジットカード類をすべて電話ケースから取り出した後に、非接触充電エリア**1**上に電話を置いてください。

i 非接触充電エリア**1**内に障害物を置くと過熱する恐れがあります。提供されている他の保管場所に保管することをお勧めします（グローブボックス、サンバイザボックスなど）。



非接触充電エリア**1**を使用すると、ケーブルなしで電話機を充電できます。

充電エリアは、以下の方法で識別されます。

– 関連する記号と

– 電話が専用エリアに配置されている限り、充電ステータスは画面に自動的に表示されます。

注: 車両によっては、ゾーン**1**に磁気装置が装備されています。この装置は、磁気技術が装備されているか、互換性のある（磁気）ケースが装備されている場合にスマートフォンを定位置に保持する設計の装置です。この装置は、安定取付けとスマートフォン充電の最適化を可能にします。

充電ゾーンの位置は車両によって異なる場合があります。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

注:

- イグニッションスイッチを ON にするか、エンジンを作動させると、誘導充電が開始されます。
- お使いの携帯電話が誘導充電に対応していることを確認してください。
- 最適な充電結果を得るには、充電する前に電話機から保護ケースを取り外すことがおすすめです。
- 最適な充電のために、スマートフォンの表面全体が充電エリアの表面の最大値と一致し、可能な限り中央に配置する必要があります。

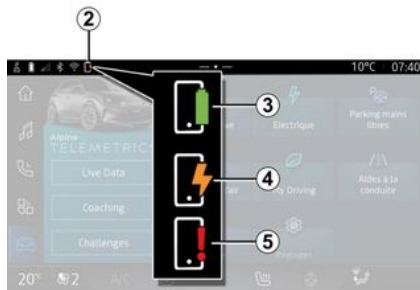
充電の手順

スマートフォンを誘導充電ゾーン**1**に置きます。充電が自動的に開始され、充電の進行状況**2**が画面に表示されます。

非接触充電エリア**1**で障害物が検出されたり、非接触充電エリア**1**が過熱したりしている場合は、充電手順が中断される恐れがあります。温度が下がった後、電話はすぐに再充電を開始します。

ワイヤレスチャージャー

充電の進行状況



- 充電ゾーンの温度が高すぎると、マルチメディア画面にメッセージが表示され、黄色または緑色のスイッチがオフになります。

マルチメディアシステムが、お使いの電話の充電状況2を通知します。

- 充電完了 3
- 充電中 4
- 充電エリアに電話機あり／電話機過熱／充電手順中断 5

注: 電話の課金手続きが中断された場合は、マルチメディアシステムが通知します。

装備によっては、充電ゾーンの近くにあるカラーインジケータライトも充電状態を通知します。

- 充電が完了すると緑色になります。
- 充電中は黄色になります。
- 非接触充電エリアに金属製の異物があると黄色点滅します。

ANDROID AUTO™, APPLE CARPLAY™

スマホ連携



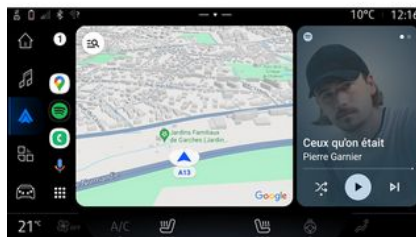
「Android Auto™」アプリ
や「Apple CarPlay™」サー
ビスを利用する場合:

- これらのサービスはそれぞれの出版社によって提供・管理されており、運営と更新が保証されています。
- これらのカードを使うにはスマートフォンを通じたインターネット接続が必要です。
- この接続には追加料金が発生する場合や、携帯電話事業者が定める条件が適用される場合があります。



「Android Auto™」アプリ
ケーションや「Apple
CarPlay™」サービスの機能
は、スマートフォンのメーカーや
モデルに応じて異なる場合があります。詳しくは、製造元の Web
サイトを参照してください。

Android Auto™



Apple CarPlay™



この機能では、以下を介して、マルチメディアシステム画面のいくつかのアプリケーションと機能を使用するため

に、スマートフォンを複製することができます。

- « Android Auto™ »  ;

- « Apple CarPlay™ »  .

注:「Android Auto™」または「Apple CarPlay™」を使用している場合は、スマートフォンのナビゲーション機能および音楽アプリケーションを利用できます。

これらのアプリケーションは、すでに実行しているマルチメディアシステムに統合された同様のアプリケーションに代わるものです。

次の1つのナビゲーションのみを使用できます。

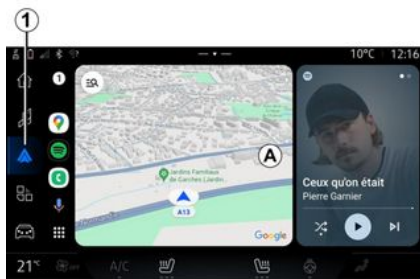
- « Android Auto™ » ;
- « Apple CarPlay™ » ;
- マルチメディアシステムに含まれているものを使用することができます。

注: マルチメディアシステムの機能の中には、「Android Auto™」アプリまたは「Apple CarPlay™」サービスの使用中もバックグラウンドで実行され続けるものがあります。具体例を挙げると、マルチメディアシステムでのラジオ再生中に「Android Auto™」または「Apple CarPlay™」を始動してスマートフォンでナビゲーションを使用しても、ラジオの受信は継続されます。

5

ANDROID AUTO™, APPLE CARPLAY™

はじめにAndroid Auto™



「Android Auto™」は、マルチメディアシステムの画面でスマートフォンを複製できるアプリです。

注：

- 「Android Auto™」アプリケーションは、スマートフォン車両の USB ポートに接続されている場合、または Bluetooth® がシステムへの自動 WIFI 接続を有効にすることで無線で動作する場合にのみ機能します。
- アプリケーションが正しく機能するようにするには、スマートフォンの製造元が推奨する USB ケーブルを使用することをお勧めします。

初めての使用

まだの方は、対応するスマートフォンのアプリケーションダウンロードプラットフォームから「Android Auto™」アプリをダウンロードし、インストールしてください。

マルチメディアシステムのUSBポートにスマートフォンを接続するか、Bluetooth®経路で接続すると、WIFI接続が自動的に起動します。

アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。

注:お使いのスマートフォンや Android バージョンとの互換性については、「Android Auto™」サービスを使用することで確認できます。詳しくは Google 文書をご覧ください。

マルチメディアシステムは、「Android Auto™」サービスを使用するように提案します。

アプリケーションは、マルチメディアシステム上で起動され、領域 **A** から確認できるはずです。スマホ連携では、

「電話」領域  が置き換えられ、

1  アイコンが表示されます。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。

初めて使用すると、スマートフォンの複製は、以降のセッションで自動的に起動します。

「アプリ」領域  から「デバイス マネージャー」すると、「Android

Auto™」連携アイコン  を押す方法でもスマホ連携機能を有効化／無効化できます。

レプリケーションの終了

「Android Auto™」ワイヤレス複製を終了するには。

- スマートフォンの通知画面で「車モードを終了」を押します。
- レプリケーションアイコン

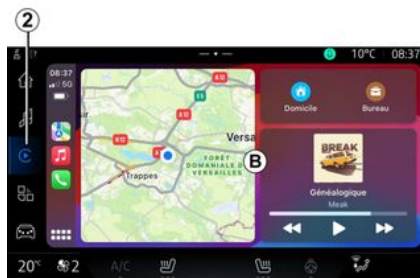
「Android Auto™」  を押してスマートフォンレプリケーションを無効

にします。または、電話 、「デバイス マネージャー」のサービスを有効化します。「デバイス マネージャー」から実行されるこのアクションは、通話と音声の管理 Bluetooth® を、一番最後に接続されたデバイスに自動的に転送します。

- スマートフォン複製アプリの中から認定ディーラーのアプリを選択します。

ANDROID AUTO™, APPLE CARPLAY™

はじめにApple CarPlay™



「Apple CarPlay™」は、お使いのスマートフォンにプレインストールされているサービスで、マルチメディアシステムの画面からスマートフォンの一部アプリを使用することを可能にします。

注：

- 「Apple CarPlay™」サービスは、SIRIサービスと車両のマイクが有効化されており、お使いのスマホが、車両のUSBポートに接続されているか、WIFIによるシステムへの自動接続を有効化するためのBluetooth®を用いて無線接続されている場合に限り機能します。
- アプリケーションが正しく機能するようにするには、スマートフォンの製

造元が推奨する USB ケーブルを使用することをお勧めします。

初めての使用

マルチメディアシステムのUSBポートにスマートフォンを接続するか、またはBluetooth®を使用してシステムへの自動WIFI接続を有効にして接続します。

マルチメディアシステムは、次のことを提案します。

- 接続とデータ共有を許可する
- これからのセッション用にApple CarPlay™に自動的に接続する。

注：マルチメディアシステムがこれらの選択を記録しないように設定すると、開始するたびにリマインダーのメッセージが表示されます。

アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。

サービスは、マルチメディアシステム上で起動され、領域 **B** から確認できるはずです。スマホ連携では、「電話」

領域  が置き換わり、**2**  アイコンが表示されます。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。

「アプリ」領域  から「デバイスマネージャー」すると、「Apple

CarPlay™」連携アイコン  を押す方法でもスマホ連携機能を有効化／無効化できます。

レプリケーションの終了

「Apple CarPlay™」ワイヤレス複製を終了するには。

- スマートフォンのWIFIを無効にします。
- レプリケーションアイコン「Apple

CarPlay™」  を押してスマートフォンレプリケーションを無効にしま

す。または、「電話」 、「デバイスマネージャー」のサービスを有効化します。「デバイスマネージャー」から実行されるこのアクションは、通話と音声の管理 Bluetooth® を、一番最後に接続されたデバイスに自動的に転送します。

- スマートフォン複製アプリの中から認定ディーラのアプリを選択します。

ANDROID AUTO™, APPLE CARPLAY™

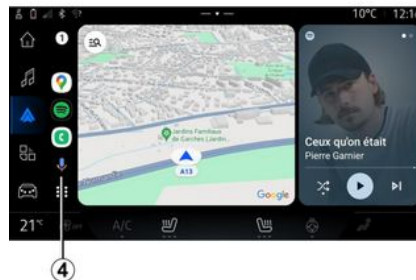
音声認識



特定のアプリや機能を音声制御するためにスマートフォンの音声認識機能を有効化／無効化するには、制御**3**を長押しします。

詳細は、「音声認識の使用」➔23の項を参照してください。

Android Auto™



「Android Auto™」レプリケーションを使用すると、次の手順で、スマートフォンのいくつかの機能を制御できます。

- 音声認識ボタン**4**を押す、
- 「Hey Google」という音声コマンドを発声する方法。

Apple CarPlay™



「Apple CarPlay™」レプリケーションを使用すると、次の手順で、スマートフォンのいくつかの機能を制御できます。

- ボタン**5**を長押しする
- 「Siri」の音声コマンドを発声することにより、車両のマイク**6**が作動している場合。

アプリケーション管理

「アプリ」領域



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



一部の設定は、車両が固定されている間のみ使用できます。



「アプリ」領域  1から、以下にアクセスできます：

- お使いのマルチメディアシステムにインストールされているアプリケーション。
- スマートフォンの複製
- 「デバイスマネージャー」
- 「Google Play Store」
- ...

注:一部のサービスは試用期間中無料で利用できます。

「Google Play Store」アプリケーションを使用して新しいアプリケーションをダウンロードできます。

「アプリ」メニュー

お使いのマルチメディアシステムにインストールされているアプリケーションにアクセスできます。

2つの最初の行は、デフォルトで事前にインストールされたアプリケーション専用です。

「Google Play Store」からダウンロードした他のアプリケーションは、アルファベット順に表示されます。

アプリケーションが利用できない場合は、表示されません。

アプリケーションを押して開いてください。



アプリケーションを押し続け、次の方法を実行できます。

- 「削除」アプリ 2
- アプリケーション 3 に関する情報（バージョン、有効性または作成日、タイトルなど）にアクセスする
- アプリを強制終了 4 する

注:「Google Play Store」からインストールされたアプリのみを削除できます。

「アプリ」設定

「アプリ」情報や設定には、次の方法で表示される「設定」メニューからアクセスできます。

- 「アプリ」領域  で、「設定」アプリを選択します。

アプリケーション管理

- 「車両」領域、「設定」。
- 通知センター、次に「設定」アイコン.

「アプリ」の位置情報



お使いのマルチメディアシステムにインストールされているアプリケーションによる位置情報の利用を許可するには、「設定」メニュー>「位置情報」>「アプリケーションによる利用の許可」5の順に選択します。

「アプリ」

「設定」メニューの「アプリ」では、お使いのマルチメディアシステムにインストールされている「アプリ」に関する情報や設定にアクセスできます。

- 最近開いたアプリ
- アプリの情報
- 「認可マネージャー」
- 「デフォルトのアプリケーション」
- 「使用していないアプリ」
- 「アプリの特定のアクセス権」。

アプリの情報

マルチメディアシステムに存在するすべてのアプリケーションに関する情報を表示できます。

- アプリケーションのタイトル
- 「アプリケーションをアンインストール」
- アプリを強制停止
- 通知をカテゴリ別に有効化／無効化する
- アプリのアクセス許可
- 記憶域とアプリキャッシュ
- アプリのパフォーマンスを優先
- アプリケーションのバージョン
- ...

「認可マネージャー」

マルチメディアシステムに存在するアプリの認可を管理します。

「デフォルトのアプリケーション」

次の場合に使用するデフォルトのアプリケーションにアクセスできます。

- ヘルプ
- ナビゲーションシステム

- SMS、
- 電話
- ホーム画面

- ...

アプリケーションアクセスリンクのオープンを設定することもできます。

「使用していないアプリ」

6か月以上使用していないアプリのリストにアクセスできます。

数か月間アプリを使用しない場合:

- データを保護するためにアクセス許可が削除されます
- バッテリー寿命を節約するために通知が無効になります
- 空き容量を増やすために一時ファイルが削除されます。

注: アクセス許可と通知を再度有効化するには、アプリを開いてください。

「アプリの特定のアクセス権」

使用するアプリケーションに与えた特定のアクセス権を有効または無効にできます。

- 「システム設定を変更する」
- 「通知にアクセスする」
- 「プレミアム SMS にアクセスする」
- 「ユーザー情報へアクセスする」
- 「WIFI スイッチ」。

はじめに



「My Alpine」アプリを使用する場合は、電話のインターネット接続を使用しています（携帯電話会社による課金と制限の対象となります）。

「My Alpine」アプリケーションをスマートフォンにダウンロードすると、「My Alpine」顧客アカウントにアクセスできます。

注：

- 「My Alpine」アプリは日々進化しています。アカウントに新機能を追加するには、定期的に接続してください。
- 互換性のある電話の詳細については、正規ディーラにお問い合わせください。
- 詳しくは、正規ディーラにお問い合わせください。

「My Alpine」顧客アカウントから、車両とやり取りして情報を取得できます。

- 車両情報を表示します。
- あなたのインタビューの履歴とカレンダーにアクセスし、予約を取りま

- 車両を駐車している場所を特定します。
- 車両のホーンとランプをリモートで起動します。
- 契約とサービスを表示および管理します。
- 取扱説明書を参照します。
- 最寄りの正規ディーラを探します。

- ...

注：

- 特定の機能は、車両装備、サービス契約のサブスクリプション、および国の法律によって異なります。
- 一部の機能は、スマートフォンから「My Alpine」アプリケーションを使用してのみアクセスできます。
- このサービスは、車両のリモートコントロールを起動するために有効にする必要があります。詳しくは「サービスの有効化」➔12の項をご覧ください。

「My Alpine」の接続サービス

電気自動車の場合

「My Alpine」アプリでは、次のような接続サービスを利用できます。

- バッテリー残量と充電状況の確認
- 充電プログラミング
- エアコンまたはヒーターの起動 / 設定
- 「Mobilize charge pass」にアクセス（充電ステーションでの支払い方法）

- 周辺の利用可能な充電端末を見つけ
- ルートに沿って充電ターミナルを識別するルートを計画する
- ...

注: 充電、エアコンおよびヒータープログラミング機能は、特定の車両でのみ利用可能です。詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。

「My Alpine」アカウントを作成します

「My Alpine」機能にアクセスするには、ウェブサイトまたは「My Alpine」アプリケーションからユーザーアカウントを作成する必要があります。

ウェブサイトから次を実行します：

- ホームページから「アカウントの作成」を選択します。
- アカウントを作成するために必要な情報を入力します。

アプリケーションから次を実行します：

- アプリケーションのメインメニューから「登録」を選択します。
- アカウントを作成するために必要な情報を入力します。

以前に提供された電子メールアドレスに、確認の電子メールが送信されます。

MY ALPINE

確認メールに記載されたリンクをクリックして、「My Alpine」アカウントの作成を完了します。

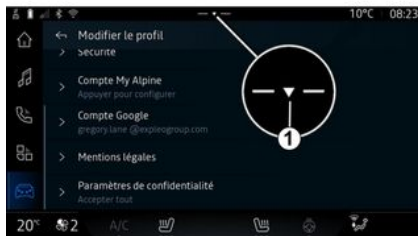
注: 同じユーザー名とパスワードを使用して、ウェブユーザーアカウントにログインできます。

ご自身の「My Alpine」アカウントの車両への同期

「My Alpine」アプリケーションを使用して車両とやり取りするには、「My Alpine」アプリケーションを車両と同期させる必要があります。同期は、アプリケーションを起動すると自動的に実行されます。

注:

- 注: 「My Alpine」アプリを車両に同期させるには、ネットワークの通信範囲内の場所に駐車し、車両のマルチメディアシステムをオンにして、車両内で操作する必要があります。
- 「My Alpine」アカウントには、管理者プロフィールのユーザーに限り接続できます。
- My Alpine アプリが車両と同期されていないと、サービス契約情報にはアクセスできません。



通知センター（**1** を押してアクセス）からご自身の「Profile」、「My Alpine」アカウントを選択し、マルチメディアシステム画面に表示される指示に従います。

「My Alpine」アカウントがマルチメディアシステムに関連付けられると、アプリケーションを起動したときに、同期が自動的に行われます。

「My Alpine」に車両を登録する

お使いの「My Alpine」アカウントが車両と同期済みの場合は自動的に登録されます。

「車両を追加」をクリックし、VIN（車両識別番号）を追加するか、または車両の登録番号を手入力またはスキャンする方法で、お使いのMy

Alpineアカウントを介してお使いのMy Alpineアカウントに車両情報を登録することもできます。

サービスの更新

期限切れに近づくにつれてサービスの1つを更新するには、「My Alpine」アカウントに移動し、「マイサービス」を選択します。

次に「更新」をクリックし、ステップバイステップの手順に従います。

車両の貸し出しや手放し

法的情報

お使いの車両を他人に貸す場合は、車両を貸す相手に、該当車両はネットワークに接続されており車両の位置といった個人情報が収集される旨を必ずお知らせください（詳しくは、接続サービスの一般販売条件をご覧ください）。

データの収集

接続サービスを有効にするため、車両は主に車両の位置と動作状況に関するデータを収集します。このデータは個人的なものです。このデータは、データ保護に関する規制に従って、車両のユーザーの同意を得て、機密性の高い方法で処理されます。

車両データの収集は一時的に停止されることがあります。これを行うには、車両が起動し、「セキュリティと機密性」のウィンドウがセンター画面に表示されたら、「OFF」を選択して、データ収集を中断します。

事故発生時の自動緊急通報に関する強制または安全機能を除いて、サービスは使用不可になります。

個人データの削除

車両を手放す場合（再販や購入の場合など）、車両に保存されているオンラインサービスに関連付けられているかに関係なく、保存されているすべて

の個人データを削除する必要があります。

すべての個人データを消去するには、車載システムをリセットし、「My Alpine」アカウントから車両を削除します。

ご自身の「My Alpine」アカウントからの車両削除

車両を手放す際には、ご自身の「My Alpine」アカウントからも車両情報を削除する必要があります。

これを行うには、「My Alpine」アカウントに接続し、車両情報を削除します。

車両譲渡

車両を手放す際には、この車両が接続されており、車両の位置情報などの個人データを収集することを新しい購入者に通知する必要があります。

システムをリセットする

車両を手放す際は、システムをリセットする必要があります。これを行うには、車両のマルチメディアシステムをオンにします。

「車両」領域から、「」>「設定」>「システム」>「リセットオプション」>「工場出荷時の設定に戻す」（データを削除）の順に選択します。

注: 管理者プロフィールからシステムをリセットする場合のみ可能です。システムをリセットすると、インストールされているアプリが削除されます。

トリップコンピューター

「運転アシスト」メニュー



これらの機能は、運転時の補助を提供します。したがって、どのような場合でも速度制限に注意し、細心の注意を払う（突然の事態にもブレーキを踏めるように常に備える）必要があり、その責任はドライバーにあります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



一部のトリップコンピューターサービスは、サブスクリプションによってのみ利用可能であり、定義された期間中にアクセスできます。
www.my.alpinecars.fr ウェブサイトからサブスクリプション期間を延長することができます。



一部の設定は、マルチメディアシステムによって保存されるために、エンジンの稼働中に変更する必要があります。

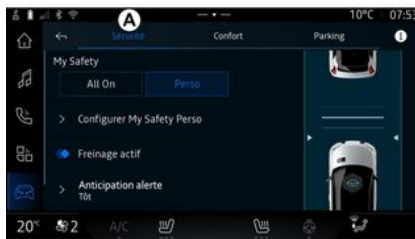
はじめに

車両には、車両を運転する際に補助的な支援を提供するドライビングアシストが装備されています。

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

注:一部の「運転アシスト」設定は、停車中に限り調整できます。

「運転アシスト」にアクセスします



「車両」領域  から「運転アシスト」を選び、安全に関わる運転支援機能に係る「セキュリティ」タブ **A** か、快適な運転に資する運転支援機能に係る

トリップコンピューター

「コンフォート」タブ **B** を選択します。

「パーキング」タブ **C** は、パーキングアシスト装備車両向けのタブです。

「パーキング」タブ **C** の詳細については、「パーキングアシスト」➔ **84** の項をご覧ください。

« セキュリティ »



「セキュリティ」タブ **A** から、次のような安全に関わる運転支援機能を有効化 / 無効化、および / または設定（装備による）できます：

- 「My Safety」
 - 「すべて ON」 **1**
 - « Perso » **2** ;
- « アクティブブレーキ » ;

- « 警告の予測 » ;

- ...

 該当機能が有効化されると、有効化 / 無効化ボタンが強調表示されます。

« My Safety »

「すべて ON」 **1**

「My Safety」機能を使うと、一連の運転支援機能を同時に有効化または無効化できます。

「My Safety」My Safety Perso を設定する **3** から同時に無効化できる運転支援機能の組み合わせを変更することで、「**1**」機能を設定できます。

「すべてON」My Safetyが有効の場合、このモードで使用できる運転支援が有効になります。このモードは、デフォルトでは車両を始動するたびに有効化されます。

「すべてON」機能My Safetyは、車両の  スイッチを1回押す方法でも有効化できます。

「」スイッチの詳細については、車両取扱説明書の「My Safety」セクションをご覧ください。

« Perso » **2**

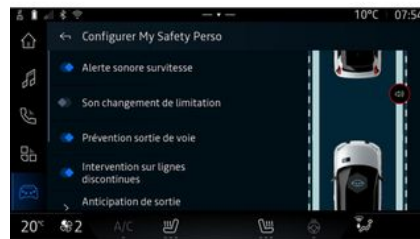
My Safety 「Perso」を有効化すると、「My Safety Perso を設定する」 **3** から以前に構成およびカスタマイズした安全支援機能が有効化されます。

My Safety 「Perso」機能は、車両の

 ボタンを2回押す方法でも有効化できます。

「」スイッチの詳細については、車両取扱説明書の「My Safety」セクションをご覧ください。

« My Safety Perso を設定する » **3**



このメニューから、My Safety 「Perso」モードを有効化する際に使用する運転補助具（使用可否は車両装備に応じて変化します）を有効化および / または構成できます。

- « 速度超過警告音 » ;

トリップコンピューター

- « リミッター変更音 »;
- « 車線逸脱防止 »;
- « 破線介入 »;
 - « レーンデパーチャー設定 »;
 - « 振動の強さ »;
- 「車線逸脱応急防止」
- 「疲労警告」
- 「注意散漫警告」
- ...

« 速度超過警告音 »

この機能は、車速が所定の速度制限を超えた場合にその旨を警告音でドライバーに警告する機能です。

« リミッター変更音 »

この機能は、所定の速度制限が変更された場合にその旨を警告音でドライバーに警告する機能です。

« 車線逸脱防止 »

この機能は、方向指示器が作動していないにもかかわらず車両が車線（実線または破線）から逸脱している場合に、ステアリングホイールを振動させる（装備機能によっては警告音を鳴らす）形でその旨をドライバーに警告する機能です。

詳細については、車両の取扱説明書の「車線逸脱警告」のセクションを参照してください。

« 破線介入 »

この機能は、方向指示灯が作動していないにもかかわらず車両が破線（追い越し可能車線）から逸脱しており車両衝突の危険（方向指示灯を作動させないまま車線変更をすることで生じ得る、他車両と衝突する危険など）が差し迫っている場合に、車両の軌道を訂正する機能です。

この車両システムの感度「レーンデパーチャー設定」は、お好みに応じて次のいずれかに設定できます。

- « 早め »;
- « スタンダート »;
- « 遅め ».

振動の強度「振動の強さ」も、お好みに応じて次のいずれかに設定できます。

- « 低 »;
- « スタンダート »;
- « 高 ».

「車線逸脱応急防止」。

この機能は、方向指示器が作動していないにもかかわらず車両が車線（実線または破線）から逸脱しており車両衝突の危険（方向指示灯が作動させないまま車線変更をすることで生じ得る、他車両と衝突する危険など）がある場合に、ステアリングホイールを振動させる（装備機能によっては警告音を鳴らす）形でその旨をドライバーに警告する機能です。

詳細については、車両の取扱説明書の「車線逸脱警告」のセクションを参照してください。

「疲労警告」

この機能は、車内カメラを用いてドライバーの顔の動きを分析し、ドライバーによる居眠り運転の危険が生じた場合に警告を発します。

詳しくは、車両取扱説明書の「補助的な運転支援機能」セクションをご覧ください。

「注意散漫警告」

この機能は、車内カメラを用いてドライバーの顔の動きを分析し、ドライバーの注意が散漫している場合には警告を発します。

詳しくは、車両取扱説明書の「補助的な運転支援機能」セクションをご覧ください。

« アクティブブレーキ »

このメニューでは、「アクティブブレーキ」機能を有効化／無効化できます。また「警告の予測」を押す方法で警告トリガーの感度次の中から選択できます。

- « 早め »;
- « スタンダート »;
- « 遅め ».

トリップコンピューター

詳細については、車両の取扱説明書の「高度な安全性」の項を参照してください。

「コンフォート」



「コンフォート」タブBを使用して、快適な運転に資する次のような運転支援機能を有効化 / 無効化、または設定できます。

- « Eco予測サポート* »;
- « 車間距離 »;
- 「適応速度リミッター」または「適応性がある速度の振幅制限器および巡航制御*」、(装備により異なります)。
- « 状況に応じた適応型クルーズコントロール* »;
- ...

注: 該当機能が有効化されると、有効化 / 無効化ボタンが強調表示されます。

「Eco予測サポート*」

この機能は、道路状況(曲がり角や環状交差点など)を見越してアクセルペダルを離すタイミングをドライバーにアドバイスし、制動遅延の回避、車両の惰性走行を活かした消費量節約、車両航続距離の延伸などを支援する機能です。

「車間距離」

この機能は、他の車両に接近しすぎた場合にドライバーに警告します。

詳しくは、車両取扱説明書の「安全な車間距離に関する警告」セクションをご覧ください。

「適応速度リミッター」または「適応性がある速度の振幅制限器および巡航制御*」

(装備により異なります)

この機能を使用すると、道路状況に応じた车速の制限および調整が可能になります。

詳細については、車両の取扱説明書の「Stop and Goアダプティブクルーズコントロール」および「道路標識の検出」の項を参照してください。

「状況に応じた適応型クルーズコントロール*」

この機能を使用すると、道路状況(環状交差点、曲がり角など)に応じた车速の規制が可能になります。

詳しくは、車両取扱説明書の「Stop and Go アダプティブクルーズコントロール」セクションをご覧ください。

パーキングアシスト

はじめに



これらの機能は、運転時の補助を提供します。

したがって、どのような場合でも速度制限に注意

し、細心の注意を払う（突然の事態にもブレーキを踏めるように常に備える）必要があり、その責任はドライバーにあります。



操作中にはステアリングホイールが急回転するため、中に手は入れず、中に障害物がないことを確認してください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

車両にはパーキングアシストが装備されています。パーキングの操縦中に補助的なアシストを提供します。

車両装備によっては、「車両」領域



から「運転アシスト」メニュー>「パーキング」タブの順に押すことで、パーキングアシストメニューにアクセスできます。

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「パーキング」メニュー



「車両」領域  から、「運転アシスト」メニュー>「パーキング」タブ **C** の順に選択します。このメニューを使用するとパーキングアシスト設定にアクセスできます。詳しくは、車両取扱説明書の「駐車アシスト」セクションをご覧ください。



1. « フロント ».
2. « サイド ».
3. « 音 ».
4. « サウンドタイプ ».

パーキングアシスト

5. « 音量 ».
6. « リアクロスパーキングアラート ».
7. « リアアクティブエマージェンシーブレーキ ».
8. « オキュパントセーフエグジット ».

「駐車アシスト」検出領域

次のパーキングアシストゾーンを有効化または無効化できます。

- « フロント » 1;
- « サイド » 2.

« 音 » 3

パーキングアシストの警告音を有効化または無効化するには「音」3を押します。

次の設定を変更できます。

- 「サウンドタイプ」4: 選択可能な警告音の中から希望の音を選択できます。
- 「音量」: 音量"パー5"を使用して障害物検出警告の音量を調整できます。

« リアクロスパーキングアラート » 6

「リアクロスパーキングアラート」機能6は、後方から車両側に接近する障害物を検出します。

これは、リバースギアが締結され、低速で車両が停止または移動すると作動します。

障害物が接近している場合は、連続的なビーブ音、マルチメディア画面の表示、およびルームミラーの光信号により通知されます。

注: 静止障害物は検出されません。

「リアクロスパーキングアラート」機能の詳細については、車両取扱説明書の「リアクロスパーキングアラート」セクションをご覧ください。

« リアアクティブエマージェンシーブレーキ » 7

後進ギアへのシフト中には、「リアアクティブエマージェンシーブレーキ」7が車両後方の静止障害物を検出します。

「リアアクティブエマージェンシーブレーキ」機能の詳細については、車両取扱説明書の「リアアクティブエマージェンシーブレーキ」セクションをご覧ください。

« オキュパントセーフエグジット » 8

「オキュパントセーフエグジット」警告8は、車両の停止中にドアを開ける際に生じ得る危険を検出し、ドライバー/乗員に警告します。

これは車両を駐車すると作動します。

障害物が車両に接近すると、インストールパネルに警告が表示され、ドアミラーとドアの内側にランプ信号が表示され、ビーブ音が鳴ります。

注: 静止した障害物や歩行者は検出されません。

「オキュパントセーフエグジット」機能の詳細については、車両の取扱説明書の「乗員の安全出口」の項を参照してください。

「ハンズフリーパークアシスト」メニュー

「ハンズフリーパークアシスト」機能は、ステアリングホイール、ブレーキ、エンジンおよびシフトレバーを制御する方法でパーキング操作を支援します。

操作中は、マルチメディアシステム画面に表示される指示（「リバースを選択」、「後進」など）に従い、ステアリングホイールから手を離してください。

ステアリングホイールを操作すると、いつでも車両のコントロールを取り戻すことができます。

「ハンズフリーパークアシスト」メニューには次の項目からアクセスできます。

- 「車両」領域  から、「運転アシスト」メニューを押した後、「パーキング」タブCを押します。

パーキングアシスト

- 「開く」を押して「ハンズフリーパークアシスト」を選択します（「ウィジェットの追加と管理」の項➔21を参照）。
- ステアリングホイール上にある「お気に入り」ボタン（構成については「ユーザー設定」セクション➔103をご覧ください）。



- « 縦列駐車 » ;

または

- « 並列駐車 ».

機器に応じて、マルチメディアシステム画面に次の異なるビューが表示されます。

- 操作の進捗を示すゲージ **D**

- 操作の方向指示 **E**

- 車両、周囲の環境、駐車可能スペースの詳細 **F**

- 前方／後方カメラの表示 **G**

作業に必要な条件が満たされない場合は、画面に警告メッセージが表示されます。

現在の操作をキャンセルするには、「マヌバをキャンセル」を押します。

このメニューで次の操作を選択できます。

- 並列駐車 **9**

- 縦列駐車 **10**

- 並列駐車スペースから出る **11**

詳しくは、車両取扱説明書の「ハンズフリーパークアシスト」セクションをご覧ください。

12アイコンを使用して、次の中からデフォルトの操作タイプを選択できます：

リアビューカメラ



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



リバースギアが作動すると、車両後方の後方カメラが作動し、車両後方の映像をマルチメディア画面に送信します。

マルチメディアシステム画面に後方表示カメラが表示されている場合は、

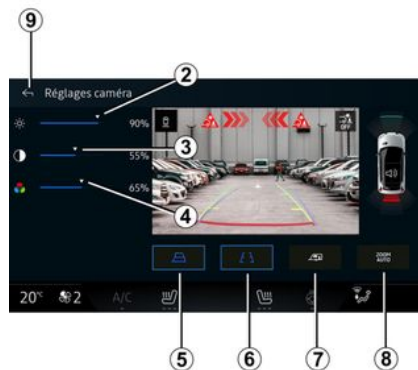
「設定」アイコン  **1** を押すことで設定にアクセスできます。

リアビューカメラの詳細については、車両の取扱説明書をご覧ください。

注：

- カメラの視界が（汚れ、泥、氷雪などで）遮られていないか確認します。
- 現地の法律によっては、車速が約 10 km/h を超えると後方表示カメラが表示されない（黒い画面に置き換わる）ことがあります。

「メッセージの設定」



次の設定を調整できます。

- 輝度 **2**
- コントラスト **3**
- 色 **4**

設定を終了するには、**9**を押します。

「ガイドライン」

ON または OFF にできます。

- ステアリングホイールの切れ角に応じて車両の軌道を示す可動ガイドライン **5**
- 後続車両との車間距離を示す固定ガイドライン **6**
- ステアリングホイールの切れ角に応じてトレーラーの軌道を示す可動ガイドライン **7**

「自動ズーム」

（装備により異なります）

「自動ズーム」**8**を有効化または無効化できます。

DRIVE MODE

「DRIVE MODE」メニュー



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「車両」領域  から「DRIVE MODE」にアクセスするには「Drive Mode」メニュー **1** を使用します。このメニューでは、オンボードシステムの動作をカスタマイズできます。

モードを選択する

使用可能なモードは、車両と装置のレベルによって異なる場合があります。「走行モード」メニュー **1** で、希望するモードを次の中から選択します。

- « Save » ;
- « Normal » ;
- « Sport » ;
- « Perso » .

これらのモードの詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

« 設定 »

目的のモードを選択し、「設定」**2** を押して、以下のオンボードシステムの各種パラメーターをカスタマイズします。

- « ステアリング » ;
- « 車内空調 » ;
- « 環境照明 » ;
- ...

注：

- 設定メニューによっては、車両と装備レベルによって異なる場合があります。
- また、車両の「DRIVE MODE」コントロールを繰り返し押すことで、さまざまなモードにアクセスすることもできます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

DRIVE MODE

「DRIVE MODE」の設定



設定画面「DRIVE MODE」には次のタブがあります。

- 「ドライブング」**3** は、車両の運転に関連する機能を示します。
- 「ライフ・オン・ボード」**4** は、乗車体験に関連する機能を示します。

注: 設定の可用性は、「DRIVE MODE」モード、車両のモデルや装備レベルによって異なる場合があります。

タブ**5**では「モード設定をリセットします」を実行できます:

「ドライブング」設定



「ドライブング」メニュー**3**では、次の車両装備を構成できます。

- « エンジン »;
- « エンジンサウンド »;
- « Alpine Drive sound »;
- « ステアリング »;
- 「敏捷性コントロール」
- ...

« エンジン »

このメニューには、いくつかのエンジン応答設定があります:

- « レギュラー »;
- « スポーツ »;
- « エコ ».

選択された設定に応じて、パワーとエンジントルクを調整して、より応答性を高めます。

« エンジンサウンド »

このメニューには、室内のさまざまなエンジン音レベルが表示されます。

- « 低 »;
- « High »;
- « OFF ».

« Alpine Drive sound »

(装備により異なります)

このメニューには、加速ノイズ、制動ノイズ、Overtake および Launch Control の作動など、室内で生じるさまざまな種類の音が表示されます。

- 「Alpine」
- « オルタネイト ».

« ステアリング »

このメニューには、いくつかのステアリング応答設定があります:

- « 低 »;
- « Middle »;
- « High ».

選択された設定に応じて、スムーズで正確なステアリング経験の間で最適なバランスを取るために、ステアリング感度を調整してより重くする、またはより敏感に反応するようにすることができます。

DRIVE MODE

「敏捷性コントロール」

このメニューには、いくつかの作動設定があります：

- « レギュラー »；
- « コンフォート »；
- « スポーツ »。

選択した設定に応じて、各ホイールの個別のトルク管理が異なり、トラクション、安定性、軌道の精度を最適に制御できます。

「ライフ・オン・ボード」設定



「ライフ・オン・ボード」メニュー 4 では、次の車両装備を構成できます。

- « 環境照明 »；
- « ライト照度 »；
- « 車内空調 »；
- ...

« 環境照明 »

このメニューは、車内にある次のムーードランプの設定に使用できます。

- « 変更中 »；
- « パーソナル »。

「環境照明」の詳細については、「ムーードランプ」セクション➔91をご覧ください。

« ライト照度 »

このメニューは、ムーードランプの輝度調整に使用できます。

「ライト照度」の詳細については、「ムーードランプ」セクション➔91をご覧ください。

« 車内空調 »

このメニューは、以下に示すようにエアコンの作動を調整できます。

- « レギュラー »；

「レギュラー」設定を使うと、エアコンを最適な状態で使用できます。

- « エコ »。

エアコンの「エコ」設定を使うと、エアコンの作動を調整（希望設定温度到達までの時間を延ばすなど）して車両の航続距離を最適化することができます。

エアコンの「エコ」設定を有効化すると、ECO 表示灯 6 マルチメディア画面に表示されます。

ムードランプ



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

「車両」領域  から、DRIVE MODEメニュー内にある「設定」ボタン>「ライフ・オン・ボード」タブ>「環境照明」の順に押します。

このメニューを使用して、室内のルームランプ環境をカスタマイズします。

« 環境照明 »



車両のムードランプの色を変更するには、ボタン 2 を動かして、円形のパ

レット 1 に用意されたいずれかの色を押します。

内側の円 3 は、車両のマルチメディア画面とインストルメントパネルの周囲色を示しています。

選択した色を確定するには「OK」を押し、色の選択をやり直すには「キャンセル」を押します。

« ライト照度 »



ムードランプの明るさを調整できます。

「車両」領域  から、DRIVE MODEメニュー内にある「設定」ボタン>「ライフ・オン・ボード」タブ>「ライト照度」の順に押します。

ムードランプの輝度を調整するには輝度バー上にカーソル 4 を移動します。

注: ムードランプの輝度は、調整中に設定された車両の昼間モードまたは夜間モードに記憶され、関連付けられます。

ALPINE TELEMETRICS



Alpine Telemetrics を利用
できるかどうかは、車両の
販売国や車両の装備レベル
によって異なります。

Alpine Telemetrics の構成は次のとおりです。

– 車両のマルチメディアシステム上の
オンボードアプリ。

と

– スマートフォンにダウンロードされ
るモバイルアプリ。

注：

– Alpine Telemetrics オプションに登
録していない場合、このオプションの
試用版が用意されており、いくつかの
機能を使用できます。

– Alpine Telemetrics アプリを使用す
るには、まず「Google」を作成して車
両 ➔ 12 とペアリングする必要があります。

– すべての機能を利用するには、
Alpine Telemetrics アプリを介して、
スマートフォンをマルチメディアシス
テムとペアリングする必要があります。



**システムの操作に関する
注意事項**
交通事故が許す限り、ス
イッチを操作してスク
リーンで情報を参照してくださ
い。

Alpine Telemetrics メニュー



「車両」領域  では「Alpine
Telemetrics」メニュー **1** にアクセス
できます。

Alpine Telemetrics メニューには次の
タブがあります。

- 「ライブデータ」 **A**
- 「コーチング」 **B**

– 「課題」 **C**

初めての使用

「ライブデータ」タブ **A** を押して、利
用規約に同意し、マルチメディア画面
に表示された指示に従って Alpine
Telemetrics サービスにアクセス許可
を付与します。

各「Profile」ユーザーは、Alpine
Telemetrics アプリにアクセスし、
➔ 103 プロファイルに関連付けられた
情報を保持することができます。

ライブデータ



「ライブデータ」メニュー **A** からは、
以下のタブにアクセスできます。

- 「敏捷性」 **D**
- 「パワー」 **E**

ALPINE TELEMETRICS

- 「持久力」 **F**
- 「サーキット」 **G**

2 を押すと、運転データを保存することができます。

運転データの保存 2

運転データ記録を使用するには、スマートフォンのアプリのダウンロードプラットフォームから「Alpine Telemetrics」アプリをダウンロードしてインストールし、スマートフォンの画面に表示された接続手順に従って、「Alpine Telemetrics」アプリ経由でスマートフォンをマルチメディアシステムにペアリングします。

記録を開始するには、スマートフォンで「Alpine Telemetrics」アプリを開き、**2** を押します。

記録を停止するには、もう一度 **2** を押します。

その後、スマートフォンの「Alpine Telemetrics」で記録を探し、その分析にアクセスすることができます。

スマートフォンの「Alpine Telemetrics」アプリからビデオ録画を設定することにより、ビデオを運転データ分析にリンクすることができます。

コーチング



車両が停止しているとき、「コーチング」**B** から、以下にアクセスすることができます。

- さまざまな運転のヒント。
- Alpine Telemetrics によって提案されるさまざまな要素（ダイアグラム、ストップウォッチなど）の説明。

課題



適用される交通規制に従って課題を実行する必要があります。

用意された課題の一部は、私道でのみ利用できます。課題を有効にすると、その課題について通知するメッセージ表示されます。



6

ALPINE TELEMETRICS

獲得すると、新しい課題のロックが解除されます。

「進行状況」 J

このメニューでは、ステータス、各種課題の進行状況、獲得したメダルを確認できます。



6

「課題」メニュー **C** からは、以下のタブにアクセスできます。

- 「課題」 **H**
- 「進行状況」 **J**

「課題」 H

以下のカテゴリの課題が用意されています。

- 「敏捷性」
- 「パワー」
- 「持久力」

詳細なシートには、各課題の内容、達成すべきメダル、獲得スコアが記載されています。

課題を開始した時点では、一部のチャレンジにはまだアクセスすることができません。実行できる課題でメダルを

タイヤ規定空気圧



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



タイヤ空気圧の詳細については、車両の取扱説明書の「タイヤ空気圧モニタリングシステム」の項を参照してください。

タイヤ空気圧の状態を確認し「タイヤ」モニタリングシステムをリセットす

るには、「車両」領域  から「車両」>「タイヤ」タブの順に押します。車両のインストルメントパネルにタイヤの膨張に関する不具合が表示されます。

TPMS システムによるタイヤ空気圧の状態



マルチメディアシステムから、タイヤ空気圧の状態を確認できます。

記号2は、色を使用してタイヤ空気圧の状態を示します。

- 緑色 – タイヤ空気圧は、正常な状態であるか、直近の再初期化後以降変わっていない状態です。
- オレンジ色 – タイヤ空気圧が不十分な状態です。
- 赤色 – いずれかのタイヤがパンクしているか、空気が抜けてい状態です。
- 灰色 – タイヤセンサから情報が受信なし。

車両に取り付けられている「タイヤ」制御システムの詳細については、



情報アイコンを押してご確認ください。

再初期化

この機能を使うと、「リセット」ボタン1を押す方法で再初期化を実行できます。

再設定手順は、車両が固定されている状態でイグニッションスイッチをONにした状態で行う必要があります。

再初期化手順を開始するには「はい」を押し、タイヤ空気圧表示に戻るには「いいえ」を押します。

リセットが終了したら、画面に確認のメッセージが表示されます。

エアクオリティ

「車両」領域  から、「エアクオリティ」を押します。

このメニューを使用すると、「空気清浄機能」機能を有効化して、車内の雰囲気や気質を健康的な状態にできます。

情報アイコン  を使用して、停車中に、「エアクオリティ」に関する情報にアクセスできます。

« 空気清浄機能 »



以下を使用して、空気浄化サイクルを開始できます。

- 「空気清浄機能」ボタン **1**

– 「ナビゲーション」領域  からアクセスできる「エアクオリティ」ウィジェット
の「空気清浄機能」ボタン。

「空気清浄機能」ボタンが強調表示されている場合は、空気浄化サイクルが進行中（約5分）です。

電気自動車

「エレクトリック」メニュー



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



一部の設定は、車両が固定されている間のみ使用できます。



「車両」領域  からは「エレクトリック」メニューにアクセスできます。

このメニューを使用して、電気自動車に関連する機能を表示および調整できます。

「エレクトリック」メニューでは次のタブにアクセスできます。

- 「エネルギー」 **A**
- 「プログラム」 **B**。
- 「電池」 **C**
- 「設定」 **D**

« エネルギー »



「エネルギー」タブ **A** では、マルチメディアシステムによるエネルギーフローの表示を有効化できます。

注: 情報は電気自動車のエンジンによって異なる場合があります。

« プログラム »



他のプログラムが設定されていない場合は、「プログラム」タブ **B**、そして「マイプログラム」または「追加」を

電気自動車

選び、車両の快適性および/または充電プログラムを設定できます。

このメニューから、以下を表示および調整できます。

- 「次のプログラム」に関する情報 **1**
- 充電プログラムに関連する時間設定 **2**
- エアコンディショナープログラムに関連する暖房の快適性設定 **3**
- 保存されている「マイプログラム」の一覧や設定 **4**
- 「追加」スケジュール **5**

各種「プログラム」の機能をご覧ください。

には、「情報」アイコン **1** を押してください。

プログラムを追加した後、「プログラム」タブ **B** から、次の「次のプログラム」**1**に関する情報を表示できます。

注: エンジン进行を停止すると、車両が電源に接続されており、電源の利用が認められている場合に限り充電が開始されます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「追加」スケジュール



スケジュールを3つまで保存できます。

スケジュールを追加するには、「追加」**5**を押した後に、次の項目を設定します。

- エアコンプログラムの準備が整わなければならない時間および/またはV2G機能が停止しなければならない時間 **6**
 - スケジュールの種類（充電スケジュール/エアコン作動スケジュール）**7**
 - 該当スケジュールの適用希望曜日 **8**
- 「はい」を押して確定できます。

« 充電の設定 » 2



「充電の設定」**2** から、次のことができます。

電気自動車

– 充電の開始時刻と終了時刻を選択して「充電予定」を有効化 / 無効化し、「はい」を押して確定します。

または

– 「V2G 充電」サービスを有効 / 無効にします（機器によって異なります）。このサービスは、電気自動車のバッテリーに蓄えられたエネルギーを家庭や電力網に再分配します。互換性のある双方向AC充電端子をお持ちで、サービスに加入している必要があります。正規サービス工場のウェブサイトで「Mobilize」オファーをご覧ください。詳しくは、正規サービス工場にお問い合わせください。この機能は、スマートフォンから「My Alpine」アプリを介して利用することもできます。

注：

- 開始時刻と終了時間が同じにすると、充電は 24 時間継続されます。
- 充電スケジュールの充電時間が短すぎると、「最大」バッテリー残量まで充電されない場合があります。
- 充電スケジュールは、曜日を選択しないと確定できません。

« 気候設定 » 3



「気候設定」3から、暖房の快適温度を調整します。

- 車内 9
- ヒーター付きシート 10
- ヒーター付きステアリングホイール 11

「はい」を押して確定できます。

日数設定 8



該当スケジュールを適用する日数 8 を選択できます。

日が強調表示されている場合は、選択された日を示します。

「はい」を押して確定できます。

6

電気自動車

« マイプログラム » 4



一覧 **4** では、有効な充電スケジュール／温度調整スケジュールの概要を確認できます。

表示、変更、または削除するプログラムの1つを押します。

削除するプログラムのゴミ箱アイコン **12** を押すと、プログラムを削除できます。

« 電池 »



「電池」 **C** から、以下を設定できます。

- ボタン **13** を操作した場合の、車両のバッテリーの最大充電レベルを設定します。
- 「V2G 充電」機能や「V2L」機能の使用における下限バッテリー残量（ボタン **14** を動かす方法で設定できます）。

「V2L」（Vehicle to Load）機能を使うと、伝動装置を車両に直接接続できます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

« 設定 »



「設定」タブ **D** では、以下の設定にアクセスできます。

- « 歩行者警告音 »；
- 「Plug & Charge」（対応充電端子に応じて変動）。
- ...

« 歩行者警告音 »

走行中は、歩行者ホーンの音を選択して、他の道路のユーザー、特に歩行者や自転車に警告することができます。

歩行者ホーンの詳細については、車両の取扱説明書の「電気自動車」の項を参照してください。

電気自動車

「Plug & Charge」

特定の公共充電ターミナルで充電器を接続した直後に車両を充電できる

「Plug & Charge」機能を有効 / 無効にすることができます。事前に公共の充電ステーションで充電契約を結んでおり、「My Alpine」アカウントから

「Plug & Charge」オプションを有効にしている必要があります。「My Alpine」アプリまたは正規ディーラのウェブサイトで「Mobilize Charge Pass」オファーを参照してください。

詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。

緊急サービスコール

車両に装備されている場合、エマージェンシーコール機能を使用することで、事故時または疾病時に、自動または手動で（課金なしで）救急サービスに電話し、救急サービスの現場到着までの時間を縮小することができます。

注意: エマージェンシーコールは次の場合に作動します:

- 2Gおよび3G通信インフラストラクチャ（車両によっては4G通信インフラストラクチャ）が整い、システムと互換性のある関連するテレマティック緊急サービスの対象になっている国にいるとき。
- 車両が走行中の地域のネットワークの通信範囲に応じて異なります。

緊急サービスが呼び出されると、オーディオ音源 / 無線音量は自動的にミュートされます。

「緊急通報」機能を使用すると、いくつかのマルチメディアシステムコマンドとメニューを1時間近く無効化でき、緊急連絡電話を優先できます。

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

ユーザー設定

「車両」メニュー



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



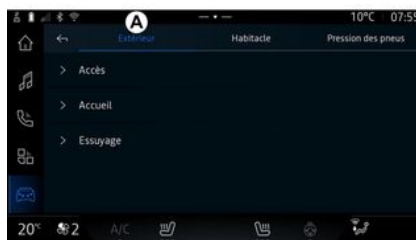
「車両」領域  から「車両」メニューを選択します。

このメニューで次のタブにアクセスできます。

- 「車外」 **A**
- 「コックピット」 **B**
- 「タイヤ圧」 **C**

注: 調整できる設定は、車両装備に応じて変わります。

「車外」 **A**



« アクセス »

このメニューを使用して、次のオプションを有効または無効にできます。

- « オートドアロック » ;
- « ハンズフリーロック/ロック解除 » :
- « サイレントモード » ;

注: 一部のオプションは、上記の機能が有効化されている場合に限り選択できます。

« ようこそ »

このメニューを使用して、次のオプションを有効または無効にできます。

- « 外部ライトシーケンス » ;
- « 室内音声シーケンス » ;

- « オートドアミラーOFF » ;
- « 室内ランプ機能 » ;
- ...

« ワイパー »

このメニューを使用して、次のオプションを有効または無効にできます。

- 「リバースギア作動時の後部ワイパ」 : 後進ギアにシフトすると、リアワイパーが作動します。

注: この機能は、フロントワイパーが作動している場合にのみ作動します。

- « オートワイパ° » ;
- ...

「コックピット」 **B**



ユーザー設定

« ディスプレイ »

このメニューでは、以下の照明オプションを調整できます。

- « マルチメディア: 昼間の明るさ »;
- « マルチメディア: 夜間輝度 »;
- « コックピットの明るさ »;
- ...

注:一部のオプションは、上記の機能が有効化されている場合に限り選択できます。

« 方向指示器音量の操作 »

このメニューを使用して、車内のインジケータの音量を調整します。

- « 低 »;
- « Middle »;
- « High ».

« よく使うステアリングスイッチ »

このメニューを使用すると、その機能を次のいずれかとして割り当てる方法で「よく使うステアリングスイッチ」を構成できます。

- « ステアリングヒーター »;
- « Vehicle world メニュー »;
- « ハンズフリーパークアシスト »;
- ...

注:利用可能なオプションの一覧は装備レベルによって異なる場合があります。

« ウィジェットの編集 »

このメニューから、「ナビゲーション」領域  のウィジェットを変更

できます（使用可否は車両の機器によって異なります）。

- « オディオ »;
- « タイヤ空気圧 »;
- « Google アシスタント »;
- « 日付と時間 »;
- « パーキング »;
- ...

「タイヤ圧」C

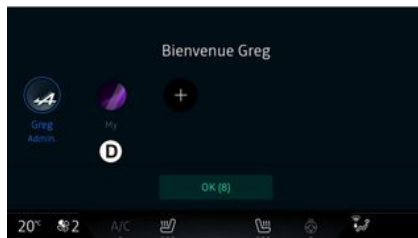


このメニューを使用して、車両のタイヤ空気圧の状態を確認し、リセットを実行します。

タイヤ空気圧の詳細については、以下を参照してください:

- 「タイヤ空気圧」の項➔95。
- 車両の取扱説明書。

メニュー「Profile」



マルチメディアシステムを起動すると、**D**で、システムと車両に適用するユーザープロファイルを選択できます。

使用するユーザープロファイルを選択します。

注:車両が固定されている間のみプロファイルを変更することができます。プロファイルの画像を押すと、通知センターからいつでも「Profile」メニューにアクセスできます。

ユーザー設定

ユーザープロフィールにリンクさせた内容

ユーザープロフィールには、次の項目に関する設定が保存されています。

- システム言語
- 「My Alpine」アカウント
- Google アカウント
- DRIVE MODE 調節。
- 個人データ利用規約に関する設定
- 表示設定
- 音を調整する
- ナビゲーション設定
- ナビゲーションの履歴
- ナビゲーションのお気に入り
- ...

注: 最初に作成されたプロフィールは、デフォルトの管理者プロフィールになります。一部の設定は、管理者プロフィール経由でのみ使用できます。

「Profile」の追加



新しい「Profile」を追加するには、**1**を押すとマルチメディア画面に表示される指示に従います。

注:

- 最大5つの「Profile」を追加できます。
- 新しい「Profile」を作成するたびに、設定が必要です。「サービスの有効化」→ **12**の項を参照してください。

「Profile」設定



個人データを保護するために、プロフィールをロックすることをお勧めします。



次の項目に関する機能には **2** からアクセスできます。

- « プロフィールを管理する » ;
- « アカウントを管理 » ;
- « プロフィールを削除 » ;
- « ゲストプロフィール ».

次の項目の修正はメニューゾーン **E** に行えます。

- « 名前 » ;
- « 写真 » ;
- « セキュリティ » :
 - 「ロックモードを選択」
 - 「ID の削除」。

- 「My Alpine アカウント」 (管理者プロフィールでのみ使用可能)
 - « プライバシー条項 » ;
 - « プライバシー設定 » :
 - « すべて受け入れる » ;

ユーザー設定

- « すべて拒否 » ;
- « カスタマイズ ».

詳細については、「サービスの起動」→12の項を参照してください。

- ...

Profile « ゲスト »



「ゲスト」(GUEST) プロフィールは、ユーザープロフィールに代表されるマルチメディアシステムの一部機能へのアクセスに使用できます。

アクセスするには、起動中に **2** を押してから「ゲストプロフィール」か **3** を押します。

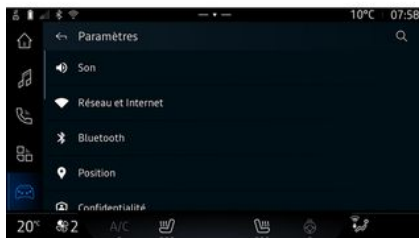
設定が保存されないままシステムが再起動されると、その都度、「ゲスト」プロフィールがリセットされます。

システム設定

「設定」メニュー



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「車両」領域  から「設定」を押します。

「設定」メニューには、「設定」アイコンを押して通知センターからアクセスすることもできます。

注：

調整できる設定は、車両装備に応じて変わります。

一部の設定は、車両が固定されている間に使用できます。

このメニューでは、次の設定を調整できます：

- « 音 »；
- 「ネットワークとインターネット」
- « Bluetooth® »；
- 「位置」
- 「秘密保持」
- 「アプリ」
- 「通知」、
- « 日付と時間 »；
- 「プロフィールやアカウント」
- « セキュリティ »；
- « システム »；
- « アップデート & アシスタント »；
- « Google »；
- ...

« 音 »

このメニューを使用して、次の音量設定を設定および調整できます。

- « メディアの音量 »；
- 「着信通話音量」
- 「電話着信音量」。
- 「通知音量」
- 「ナビゲーション音量」
- « システム音量（ピツという音やタッチ音） »；
- « アシスタント音量 »；
- 「電話の呼び出し音」
- ...

「ネットワークとインターネット」



電話で接続共有を使用する場合は、WIFI 接続を介して電話のインターネット接続を使用しています（携帯電話会社による料金と制限の対象）。



システム設定



このメニューを使用して、次のインターネットネットワークを設定できません。

- 「アクセスポイント」
 - 「アクセスポイント」を有効 / 無効にする
 - アクセスポイントの詳細
 - アクセスポイントを自動的に有効化または無効化できます。
 - ...
- « WIFI »:
 - マルチメディアシステム上にある、リモートインターネット接続用アクセスポイントの使用に必要な「WIFI」を有効化または無効化できます
 - 使用可能なネットワークを表示
 - 「ネットワークを追加」

- 「WIFI 設定」
- 「コネクティビティー」には、次の要素に関する情報が表示されます。

- 接続性データとステータス
- 「ネットワーク タイプ」
- システム ID

- ...

マルチメディアシステム「WIFI」を起動すると、ステータスバーのアイコンを介してステータスが通知されます。

- **1** 「WIFI」が有効化され、通信量に上限のないネットワーク接続が確立している状態です。
- **2** 「WIFI」が有効化され、ネットワーク接続は確立していますが、インターネットには接続されていないか、通信量に上限のある状態です。
- **3** 「WIFI」は有効化されていますが、ネットワーク接続は確立していない状態です。

注: 「WIFI」が無効になっている場合、ステータスバーにWIFIアイコンは表示されません。

ステータスバーのアイコンを押して、データ共有ステータスに関する情報を表示することもできます。

- **4** 「すべて受け入れる」、すべてのデータを共有します。
- **5** 「すべて拒否」: どのデータも共有されない状態です。
- **6** 「カスタマイズ」は、許可したデータのみを共有します。

データ共有の詳細については、「サービスの起動」➔ **12** の項を参照してください。

注: データの共有を拒否した場合、ステータスバーにアイコンは表示されません。

« Bluetooth® »

このメニューを使用してマルチメディアシステム Bluetooth® 機能を調整できます:

- マルチメディアシステム「Bluetooth®」を有効または無効にする
- 「電話サービスデータを設定」。
- « 新しいデバイスとペア設定 »。

「位置」

このメニューを使用して、車両の位置設定を調整できます。

- 「最近の位置の要求」
- 「アプリのアクセス許可」

「アプリ」

このメニューを使用すると、マルチメディアシステムのアプリケーションに関する次の項目の構成を行えます。

- すべてのアプリケーションを表示
- 「認可マネージャー」
- 「デフォルトのアプリケーション」
- 「使用していないアプリ」
- 「アプリの特定のアクセス権」。

システム設定

「通知」

このメニューを使用すると、マルチメディアシステムに関する次の項目の構成を行えます。

- マルチメディアシステムアプリの通知の有効化／無効化
- « プロアクティブな推奨事項 »。

« 日付と時間 »

このメニューを使用して、マルチメディアシステムの日付と時刻を調整できます。

- 「タイムゾーンを自動的に設定する」
- 「タイムゾーンの設定」（手動）
- 「24時間形式を使用する」

「プロファイルとアカウント」

マルチメディアシステムのプロフィールメニューにアクセスできます。

« セキュリティ »

このメニューを使用して、マルチメディアシステムのセキュリティ設定を調整できます。

- 「プロフィールをロック」
- 「ID の削除」
- 「セキュリティ更新」。

« システム »

このメニューを使用して、マルチメディアシステムの設定を調整できません。

- 「言語と入力」
- 「単位」（km/h）

注: この設定を変更すると、速度計の表示単位と、インストールパネルに表示される距離情報の一部が変換されます。前のモードに戻りたいときは、同じ作業を行ってください。

- 「ストレージ」
 - 「音楽とオーディオ」
 - 「その他のアプリケーション」
 - 「ファイル」
 - « システム »。
- 「概要」
- 「法的情報」
- 「オプションのリセット」
- ...

« アップデート & アシスタント »

このメニューを使用すると、次の機能を参照／構成できます。

- 「能動的な提案」

詳細については、「通知」➔ 113の項をご覧ください。

- « 信頼できるデバイス »；
- « 車両のアップデート »；

詳細については、「アップデート」➔ 110の項をご覧ください。

- ...

« Google »

このメニューを使用して、Google サービスを調整できます：

- « Google アシスタント »；
- 「コメントを Google に送信」。

「車両更新」メニュー

 一部の更新プログラムのインストールでは、車両を一時的に使用できなくなる場合があります。その場合は、画面に表示される表示を参照してください。

 車両は静止し、固定され、イグニッションがオフになっている必要があります。場合によっては、マルチメディアシステムで示された期間車両を始動できない場合があります。

 安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



す。

インストールを開始する前に、交通から遠く離れて車両を駐車し、パーキングブレーキを解除しま

「車両」領域  から「車両」メニュー、「設定」、「アップデート & アシスタント」を選択してから、「車両更新」を選択します。

このメニューを使用して、さまざまなタイプの情報を表示し、車両を更新することができます。

- マルチメディア装備
- トリップコンピュータ
- ...

更新プログラムは、システムによって自動的に提供される場合があります。車両の接続性に応じて、手動で更新を確認することもできます。

「車両のアップデート」画面



1. « 更新を確認中 ».
2. « アップデート中 ».
3. « 履歴の更新 ».
4. « 情報 ».
5. 「自動更新」
6. 「自動更新」を有効化/無効化します。

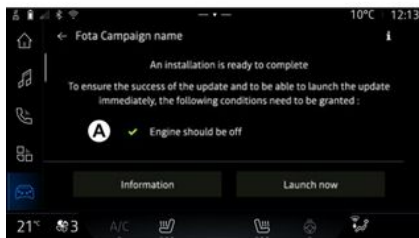
注：

- 更新が利用可能な場合は、通知を通じて通知されます。「通知」➔113の項を参照してください。
- 更新が利用可能な場合は、ダウンロードが自動的に開始されます。
- 更新は、車両がモバイルネットワークでカバーされている地理的な場所にある場合にのみ検索してダウンロード

更新

できます。詳しくは「システム設定」
➔ 107 の項をご覧ください。

– 車両所在国では更新できない場合、
「更新を確認中」と「アップデート中」メニューは選択できません。



更新のインストールの準備ができた
ら、インストールを完了するために、
同意と確認が要求されます。

更新を開始するには、マルチメディア
システム画面 A に表示されるすべての
条件を満たす必要があります。

更新のインストール準備が整うと、マ
ルチメディアシステムより、更新をイ
ンストールする時間をプログラムする
ように促されます。インストールのタ
イミングを設定するには、「スケジュール
する」を選択して更新インストールの
希望タイミングを設定し、「インストール」
を押して設定を確定します。

マルチメディアシステム画面に表示さ
れる指示に従ってください。

注：

– 更新によっては、画面がオフになる
場合があります。

– 必要不可欠な更新は、マルチメディア
システム画面に表示されるカウント
ダウンの終了後に自動的にインストール
されます。

– 一部のインストールでは、車両を終
了してロックする必要があります。

マルチメディアシステムを再起動する
と、更新が正常に完了されたことを確
認するメッセージが表示されます。

不具合がある場合は、「作動不良」
➔ 115 のセクションを参照してくださ
い。

« 更新を確認中 » 1

更新は、「更新を確認中」1 を押す方
法で直接検索することもできます。

マルチメディアシステムを検索した
後、次の更新プログラム（利用可能な
場合）にアクセスできます。

マルチメディアシステム画面に表示さ
れる指示に従ってください。

更新には数日かかる場合があります
が、この間は車両を正常に使用できま
す。

« アップデート中 » 2

このメニューには、更新が可能になっ
た時点でアクセスできます。

更新中に「情報」 アイコンを押
すと、更新されたコンテンツ情報にア
クセスできます。

注：「アップデート中」が利用できない場
合は「更新を確認中」にアクセスでき
ません。

« 履歴の更新 » 3

このメニューを使うと、更新の履歴や
ステータスを閲覧できます。

過去の更新に関する情報を検索するに
は、更新を選択します。

« 情報 » 4

このメニューでは、更新に関連する情
報にアクセスしたり、「VIN」（車両
識別番号）を表示したりできます。

「自動更新」 5

この機能を有効化すると、いくつかの
更新は、お客様が特に対応しなくても
自動的にインストールされます。

6 を押して、特定の更新の自動実行機
能を有効化 / 無効化できます。

更新

電気自動車に関する特別な機能



更新を行うと、一時的に車両が利用できなくなり、更新のインストール中に充電機能が禁止されます。



マルチメディアシステムを使用してシステムの更新を受け入れただけであれば、トラクションバッテリーの充電が遅延またはキャンセルされます。充電リードを車両に接続する前に、更新が完了するまで待ちます。

車両更新のインストール中に車両への充電を開始しないでください。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従います。

注：

- 車両が直流（DC）を使用して充電している間は、更新をインストールできません。更新が進行中の場合は、DC車両の充電を開始する前に、最後まで待つ必要があります。更新開始操作自体は充電中も行えますが、更新処理は、充電終了後に実行されます。
- 交流（AC）車両の充電の前 / 中に更新が開始された場合、後者は中断さ

れ、更新が完了すると自動的に再開されます。

詳しくは、車両の取扱説明書の「電気自動車: 充電」の項を参照してください。

通知

通知センター



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



通知センターは、走行中の通知や、次のような特定の機能、提案および設定を可能にする装備です。

- ユーザー「Profile」へのアクセス **3**
- サービスの状態 **B**。

- WIFI の有効化／無効化
- Bluetooth® の有効化／無効化
- サウンドのオン／オフ。

- 「設定」  **4**
- 車両装備や画面輝度制御へのショートカット **C**。

注: ショートカットやコマンド種の使用可否は、車両装備に応じて変動し、変更はできません。

- 受信通知一覧 **D**
- 最近使用したアプリ
- ...

1 ボタンを使用するか、マルチメディア画面を **A** エリアから画面の中央にすばやくスワイプして通知センターを開き、いつでも利用可能な通知と機能にアクセスできます。

未読の通知がある場合は、矢印 **2** がボタン **1** の中央に表示されます。

2 を押すと、通知センターが自動的に開いて未読の通知を読む状態になり、記号が消えます。

通知センターが開いたら、一覧 **D** から通知を選択することで、その通知にアクセスできます。

画面上で横に素早くスワイプすると通知を削除できます。

すべての通知を削除するには、ボタン **5** を押します。

通知

注: 通知の中には、所定の操作を行わないと通知センターから削除できないものがあります。

通知センターを終了するには、**1**を押すか、画面の下から中央に向かってすばやく上にスワイプします。

通知設定

「設定」アイコン**4**か「車両」領域



から、「設定」メニュー>「通知」メニューの順にアクセスします。

このメニューを使用して、マルチメディアシステム通知を設定します。

「通知」メニューの詳細については、「システム設定」➔**107**セクションをご覧ください。

« 積極的な提案 »

「積極的な提案」機能は、現在の運転スタイルに適応した「DRIVE MODE」モードが、利用可能な通知を介して通知されます。

マルチメディアシステムは次のオプションを提案します:

- « はい »;
- « いいえ »;
- « 常にいいえ ».

「設定」アイコン  **4**または「車

両」領域  から「設定」メニュー

を選ぶと、「アップデート & アシスタント」メニューから「積極的な提案」にアクセスできます。

このメニューでは、マルチメディアシステムでの積極的な推奨通知を設定することができます。

注:「積極的な提案」機能を使用するには、データ共有を有効化する必要があります。詳しくは、「サービスの有効化起動」➔**12**セクションをご覧ください。

システム

システム		
不具合	原因	解決法
画像が全く表示されない。	画面がアイドル状態です。	画面がアイドル状態でないか確認。
画面がフリーズしている。	システムメモリが飽和状態です。	次を押し続け、システムを再起動します： – マルチメディア停止 / 始動ボタン（システムが再起動するまで長押しします）。 または – Mode」ボタンとステアリングコラムコントロールの左側にある「Source」ボタン（システムが再起動するまで押し続けます）。
カメラが画面に正しく表示されない。	カメラはレンズを覆い隠す汚れで覆われています。	カメラに泥や汚れがないか確認します。
音が出ない。	音量が最小か一時停止になっています。	音量を上げるか一時停止を解除します。
左、右、前方、後方のスピーカーから音が出ない。	バランスまたは fader の設定が正しくありません。	サウンド バランスまたは fader を正しく調整してください。
「My Alpine」アプリケーションで接続サービスが機能しない。	マルチメディアシステム / 電話インターネットネットワークの受信不良。 My Alpine サービスとの同期の問題。	車両と電話をインターネットネットワークの通信可能な場所に移動します。 不具合が直らない場合は、ルノー指定サービス工場にお問い合わせください。
サービスまたはアプリケーションが作動しない。	サブスクリプションが一時停止しています。 マルチメディアシステムのインターネット接続が利用できなくなった。	「My Alpine」アカウント契約ページからアクセス可能なインターネットプロバイダーのポータルで、サブスクリプションのステータスを確認します（最初に車

システム

システム		
		両の「My Alpine」アカウントに接続する必要があります)。 電話の「アクセスポイントと接続の共有」を使用してインターネット接続にアクセスします (詳しくは「システム設定」セクション ➔ 107 をご覧ください)。

ナビゲーション

ナビゲーション		
不具合	原因	解決法
画面上の車両の位置が実際の位置と一致しない、または画面上の GPS 警告灯がグレーまたは黄色のままになっている。	GPS受信が原因で、間違った位置が測定されています。	GPS信号を良好に受信できる場所まで車を移動させてください。
交通の流れが画面に表示されない。	ガイドがオフになっています。 接続サービスが作動しない。	ガイドがオンになっているか確認してください。目的地を確認してガイドを開始します。 接続サービスが有効になっているか確認し、データ収集を有効にします。
メニュー項目の一部が使用できません。	使用中のコマンドに関係する一部の項目が使用できません。 一部の機能は、車両の走行中には使用できません。	車両を停止してください。
音声ガイドが使用できない。	音声ガイドまたはガイドがオフになっています。	音量を上げて下さい。音声ガイドがオンになっているか確認して下さい。ガイダンスが進行中か確認します。
提案ルートが開始されない、もしくは希望目的地で終了しない。	システムが目的地を認識していない。	希望する目的地の近くの道路を入力します。

電話

電話		
不具合	原因	解決法
電話機が、使用可能電話機一覧に表示されていない。	システムと電話の通信が確立していません。	お使いの電話のBluetooth®を有効化してください。有効化しても電話が表示されない場合は、お使いの電話にある端末一覧からマルチメディアシステムを選択します。
電話機そのものはペアリング対象電話機一覧に表示されているものの、ペアリングがうまくいかない。	ペアリングコード確認が終わっていません。	マルチメディアシステム上と電話上でコードを確認します。
音と呼び出し音が聞こえません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 音量が最小か一時停止になっています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。音量を上げるか一時停止を解除します。
電話をかけられません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 電話のキーパッドがロックされています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。電話のキーパッドのロックを解除してください。
Apple CarPlay™ または Android Auto™ レプリケーションが作動していません。	電話が接続されていないか、システムと互換性がありません。	これらのアプリケーションとの互換性を確認してください。電話がシステムに正しく接続されていることを確認してください。

音声認識

音声認識		
不具合	原因	解決法
システムが音声コマンドを認識しない。	音声コマンドが認識されていない。 音声認識の遅延時間が過ぎています。 音声認識は、騒音の多い環境では正しく機能しません。	音声制御が利用可能であることを確認してください（「音声認識を使用する」を項を参照してください）。➔ 23).音声認識の遅延時間内で発声してください。 静かな環境で発声してください。

更新

更新		
不具合	原因	解決法
新しい SW（ソフトウェア）をダウンロードするのに非常に時間がかかる。	インターネットネットワークの受信不良。 ダウンロードには最低走行時間が必要です。	車両をインターネットネットワークでカバーされているエリアに移動します。 追加の走行フェーズを実施します。
更新の完了を要求されることはありません。	車両が停止していない。	車両が適切に停止している（パーキングブレーキをかけた状態）ことを確認します。
画面がオフ、音が出ない、更新中にいくつかの機能が失われる。	更新が進行中です。	更新が終了するのを待ちます。
更新を完了する要求が表示されない。	アップデート開始後その月は応答がない。	サーバーは後で作業を再開します。更新がまだ利用可能な場合は、手動で確認できます。
更新が完了しました。	システム内部エラーの更新: 他の機能は影響を受けではありません。 直流充電との非互換性（電気自動車専用）。	メーカーにお問い合わせください。 直流充電を実行する前に、更新が完了するまで待ちます。 警告灯の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。
エラーのために更新が完了に失敗し、  警告灯が表示されます。	重大なエラー。	車両を再始動してはいけません。正規サービス工場にご連絡ください。 警告灯の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。
エラーのために更新が完了に失敗し、  警告灯が表示されます。	更新中のエラー（重大ではない）。	問題を解決するには、指定サービス代理店にお問い合わせください。 警告灯の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

索引

A

Android Auto™、[23](#)、[53](#)、[71](#)
Apple CarPlay™、[23](#)、[53](#)、[71](#)

B

Bluetooth®、[53](#)

D

DRIVE MODE、[88](#)

G

Google、[12](#)、[34](#)、[42](#)、[92](#)、[104](#)、[107](#)
Google Assistant、[23](#)、[24](#)、[62](#)
Google Maps、[12](#)、[23](#)、[29](#)、[34](#)、[42](#)
Google Play Store、[29](#)、[34](#)、[47](#)、[53](#)、[75](#)

M

My Alpine、[12](#)、[77](#)

S

smartphone 複製、[23](#)、[71](#)
SMS、[67](#)
SMS: SMSの受信、[67](#)
SMS: SMSの読み取り、[67](#)

W

Wifi、[71](#)、[107](#)

ア

アプリケーション、[75](#)

イ

インストールメントパネル上の表示、[29](#)

エ

エアクオリティセンサ、[96](#)

お

お知らせ: おすすめやお知らせ、[17](#)、[113](#)

ガ

ガイド: 地図、[29](#)

キ

キーパッドを使用して電話番号を押す、[66](#)

サ

サウンド音量の調整、[68](#)

シ

システム: 更新、[110](#)

ス

スクリーン制御、[8](#)

索引

ステアリングコラムコントロール、 [8](#)
ステアリングホイール内蔵制御装置、 [8](#)

ソ

ソース、 [53](#)
ソース: オーディオ、 [47](#)
ソフトボタン、 [5](#)

タ

タイヤ規定空気圧、 [95](#)

デ

ディスプレイ2D/3D: モード2D/3D、 [29](#)

ド

ドライブUSB、 [53](#)
トリップコンピューター、 [80](#)

ナ

ナビゲーション: ナビゲーション設定、 [42](#)
ナビゲーション: ナビゲーション履歴、 [34](#)
ナビゲーション: 目的地入力、 [34](#)
ナビゲーションシステム、 [29](#)

ハ

ハンズフリー駐車、 [84](#)
パーキングアシスト、 [84](#)

ボ

ボタン: ON / OFF、 [20](#)

マ

マルチメディアシステムの構成、 [103](#)
マルチメディアシステムを始動、 [20](#)
マルチメディア画面、 [5](#)、 [16](#)
マルチメディア装備、 [5](#)

メ

メニュー: ホームページ、 [21](#)、 [22](#)

ラ

ラジオ: 自動ラジオ局記憶、 [49](#)
ラジオ: 放送局プレチューニング、 [49](#)
ラジオ局を選択: ラジオを聴く、 [49](#)
ランドマーク、 [34](#)

リ

リアビューカメラ、 [87](#)
リアビューカメラ設定: 画像設定、 [87](#)
リアビューカメラ有効化: ガイドライン、 [87](#)

音

音楽、 [53](#)
音声メッセージ、 [66](#)
音声制御、 [23](#)

索引

音声認識、 [23](#)

画

画面: スクリーンセーバー、 [20](#)

画面: メニュー、 [5](#)

個

個人データ: 保存、 [12](#)、 [58](#)、 [64](#)

作

作動異常、 [115](#)、 [118](#)、 [119](#)、 [120](#)

自

自動通話中着信、 [63](#)

車

車内ムードランプ: カスタマイズ、 [91](#)

車両カスタマイズ設定、 [103](#)

住

住所: 自宅、 [34](#)

住所: 職場、 [34](#)

制

制御、 [8](#)

接

接続サービス、 [12](#)

設

設定、 [68](#)、 [107](#)

設定: カスタマイズ、 [107](#)

設定: ナビゲーション、 [42](#)

設定のカスタマイズ、 [21](#)、 [22](#)、 [103](#)

地

地図: 設定、 [29](#)

地図: 地図記号、 [29](#)

地図: 表示、 [29](#)

着

着信に応答、 [62](#)

着信を拒否、 [62](#)

通

通話を終了、 [62](#)、 [63](#)

電

電話のペアリング、 [58](#)

電話のペアリング解除、 [59](#)

電話の切断、 [59](#)

電話の接続、 [59](#)

電話を受ける、 [62](#)

索引

電話設定: 電話の着信音、[66](#)、[68](#)

電話帳、[64](#)

電話番号を押す、[62](#)、[66](#)

発

発信ログ、[65](#)

無

無線充電器: - 誘導充電、[69](#)、[70](#)



SOCIÉTÉ DES AUTOMOBILES ALPINE, SA par actions simplifiée à associé unique
AVENUE DE BREUTE, 76200 DIEPPE - SIRET 662 750 074 / SITE INTERNET : alpinecars.com

NW 1623-5 – 77 99 002 801 - 05/2026 - Edition japonaise



7799002801